

第Ⅲ章 グループホーム・老健施設での タイムスタディ調査

第三章 グループホーム・老健施設でのタイムスタディ調査

1. 調査の目的

平成 18 年に厚生労働省が実施した「高齢者介護実態調査」では、介護保険施設の入所者を対象として、要介護認定調査をベースとした高齢者状態調査、及びケア内容とケア量を把握するためのタイムスタディ調査が行われた。また、「高齢者介護実態調査」の結果(データ)に基づいて、心身状態とケア量との関係を分析することにより、要介護認定の一次判定ロジックの検討が行われた。

本調査は、施設系の居宅サービスであるグループホームにまで調査範囲を広げて、高齢者の心身状態の評価、提供される介護サービスの時間測定(タイムスタディ)について、その方法論を検討するとともに、実施における課題を抽出することを目的とする。

2. 調査の方法

提供しているサービスの質が高く、認知症等に関する診断名、治療内容等を的確に把握している施設(グループホーム及びユニット型介護老人保健施設)の入居者／入所者を対象としてタイムスタディ調査を実施した。

(1) 高齢者状態調査

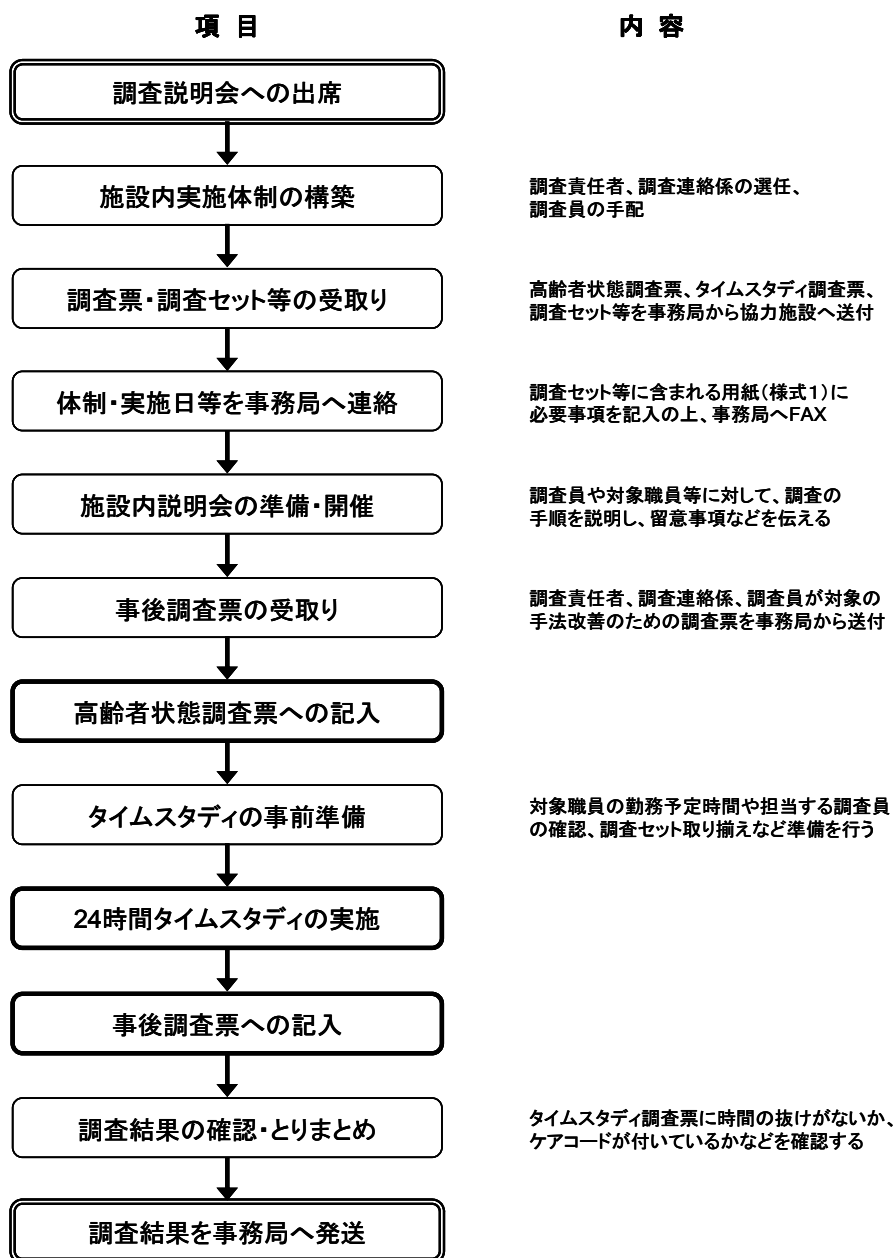
- 調査対象：協力施設(5 施設)に入居／入所している高齢者
- 調査方法：調査票へ協力施設の職員が記入
- 調査項目：

1. 基本調査	要介護認定調査と同じ内容であり、「身体機能・起居動作に関連する項目」、「生活機能に関連する項目」、「認知機能に関連する項目」、「精神・行動障害に関連する項目」、「社会生活への適応に関連する項目」、「特別な医療についての項目」、「日常生活自立度に関連する項目」で構成されている。
2. 特記事項	
3. CDR (Clinical Dementia Rating)	CDR は観察法による認知症の評価方法であり、「記憶」、「見当識」、「判断力と問題解決」、「地域社会活動」、「家庭生活および趣味・関心」、「介護状況」の 6 項目について 5 段階評価する。
4. 診断・治療等の内容	「認知症に関する診断名」、「嚥下」、「失禁」、「入浴・清拭の回数」、「薬剤の使用状況」、「非薬物療法の実施状況」などの項目からなる。
5. 薬剤の 1 日量	過去 24 時間以内に与薬した薬剤の「商品名」、「剤形」、「1 日量」、「与薬日数」を記入してもらう。

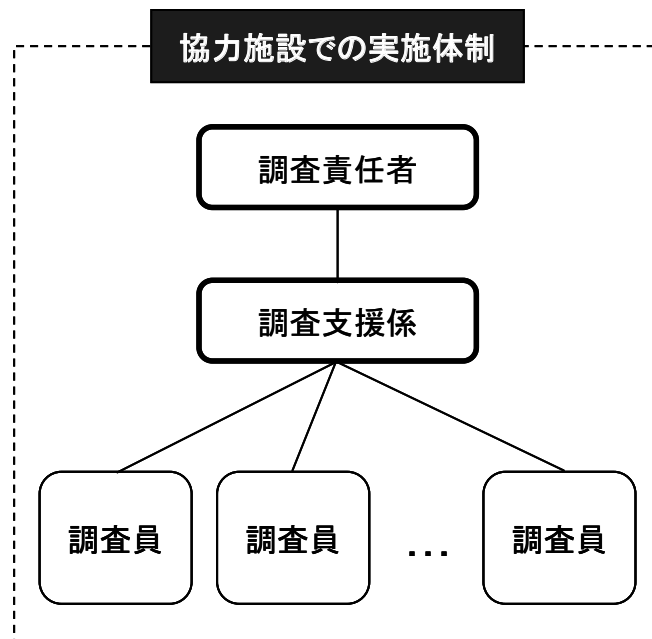
(2) タイムスタディ調査（連続する 24 時間）

- 調査対象：高齢者状態調査の調査対象者に対して、ケアを提供する可能性のある職員（医師・薬剤師・事務員・調理師・栄養士・清掃員・実習生・ボランティア等は対象外）
- 調査方法：1 分間タイムスタディ、1 人の調査対象職員に 1 人の調査員がついて計測（毎分 00 秒の瞬間に、何のケアを、誰に提供しているかを観察し記録する）
- 調査項目：「業務内容」、「ケアコード」、「ケア対象者 ID 番号」、「ケア対象者数」

グループホーム・老健施設でのタイムスタディ調査全体の実施フローを以下に示す。



調査対象施設において、実際に調査を指揮する担当者(調査責任者 1 名)と、それを補佐する担当者(調査支援係 1～2 名)を選任してもらい、調査実施体制を構築してもらった。



	人数	役割
調査責任者	1 人	施設内におけるタイムスタディ調査の準備、計測実施、調査票の返送までの調査実施を統括する。
調査支援係	1～2 人	調査責任者を補佐し、施設内説明会などの事前準備を手伝い、計測実施時やケアコードへの変換での調査員の質問等への対応を分担する。
調査員	調査対象職員と同数	担当する調査対象職員が誰に何のケアをしているかを、毎分記録することでケア時間を計測する。計測後は、記録した業務内容をケアコードに変換する。

3. 調査の結果

本タイムスタディ調査への協力していただいた施設は、グループホームが3施設、介護老人保健施設が2施設、合計5施設であった。施設名はアルファベットで匿名化しており、調査票を受領した順にA～Eまでのアルファベットを割当てた。各協力施設の調査対象ユニット数及び高齢者数は以下の通りである。

	調査対象 ユニット数	調査対象 高齢者数
グループホームA	1	9人
グループホームB	1	9人
グループホームC	1	9人
介護老人保健施設D	1	8人
介護老人保健施設E	1	10人
合 計	5	45人

以下、「3.1 調査対象高齢者の状態」では、高齢者状態調査票のデータに基づく集計結果を示す。

タイムスタディ調査のデータに基づいた集計・分析結果として、「3.2 調査対象高齢者へのケア時間」、「3.3 個別ケアに関する分析」、「3.4 ケアコードに関する分析」を示す。

「3.5 調査実施者の意見」では、事後調査票等を通じて得られた調査実施者（調査責任者、調査支援係、調査員）の意見を整理した。

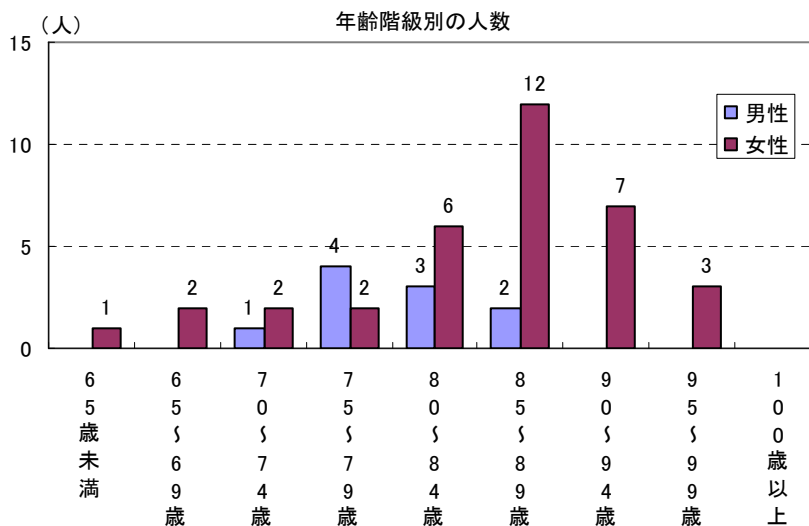
3.1 調査対象高齢者の状態

高齢者状態調査票のデータに基づく集計結果を以下に示す。

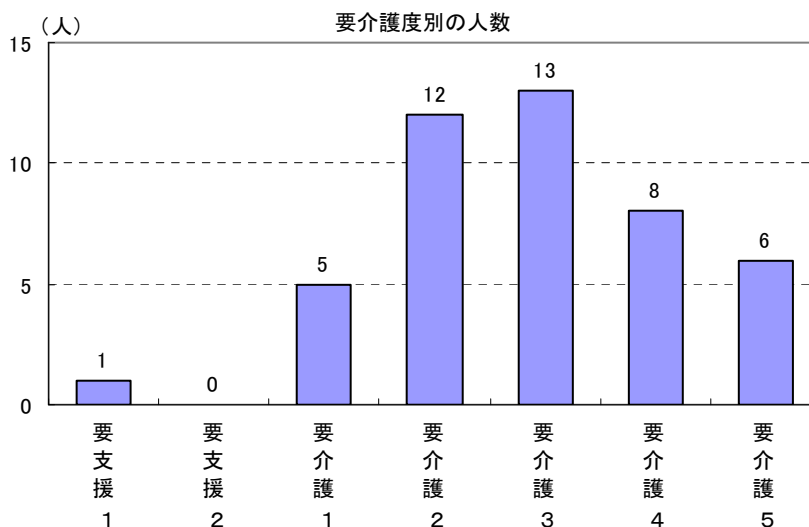
(1) 調査対象高齢者の属性別の分布

協力施設は5施設であり、各施設1ユニットを調査対象とした。調査対象高齢者は総数45人であった。調査対象高齢者の年齢階級別の人数分布を図表3-1-1に、要介護度別の分布を図表3-1-2に示す。

図表 3-1-1 調査対象高齢者(45人)の年齢階級別の人数分布

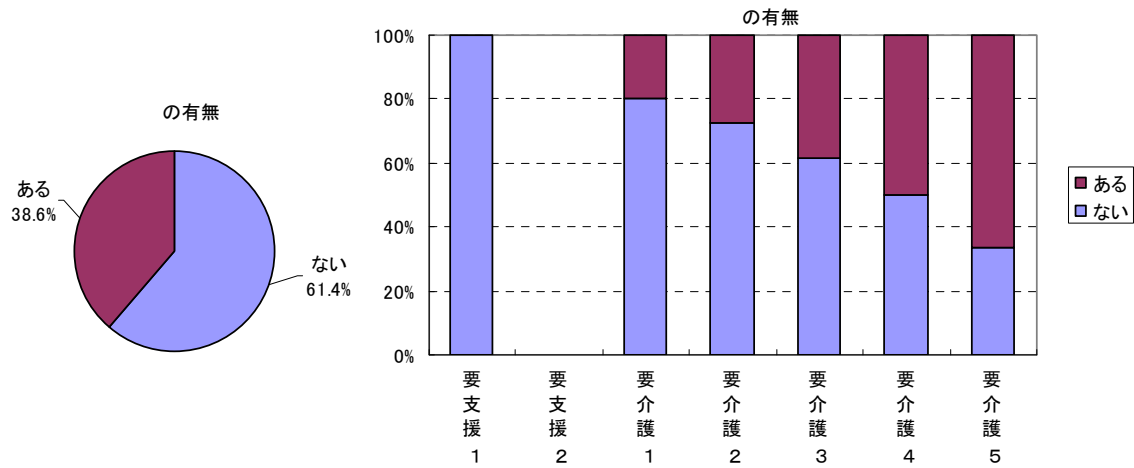


図表 3-1-2 要介護度別の人数分布

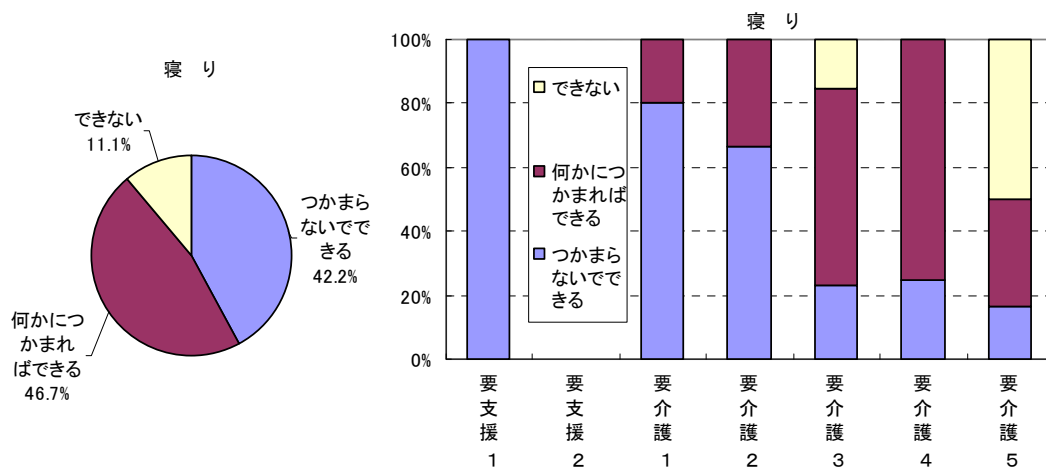


要介護度ごとの麻痺等の有無別の人数構成比を図表 3-1-3 に、寝返りの状態別の人数構成比を図表 3-1-4 に示す。

図表 3-1-3 要介護度ごとの麻痺等の有無別の人数構成比



図表 3-1-4 要介護度ごとの寝返りの状況別の人数構成比



調査対象高齢者 45 人について、認知症の診断名別の該当者数を図表 3-1-5 に、使用薬剤別の該当者数を図表 3-1-6 に示す。

図表 3-1-5 認知症の診断名別の該当者数

認知症診断名 (ICD-10)	該当者数 (45人中)	該当者割合
F00 \$ (アルツハイマー病の認知症)	22人	48.9%
F01 \$ (血管性認知症)	10人	22.2%
F02 \$ (他に分類されるその他の疾患の認知症)	4人	8.9%
F03 (詳細不明の認知症)	4人	8.9%
F07 \$ (脳の疾患、損傷及び機能不全による人格および行動の障害)	1人	2.2%
F09 (詳細不明の器質性または症状性精神障害)	1人	2.2%
その他	5人	11.1%

※前頭側頭型認知症およびレビー小体型認知症は、F02 \$に含まれる。

図表 3-1-6 使用薬剤別の該当者数

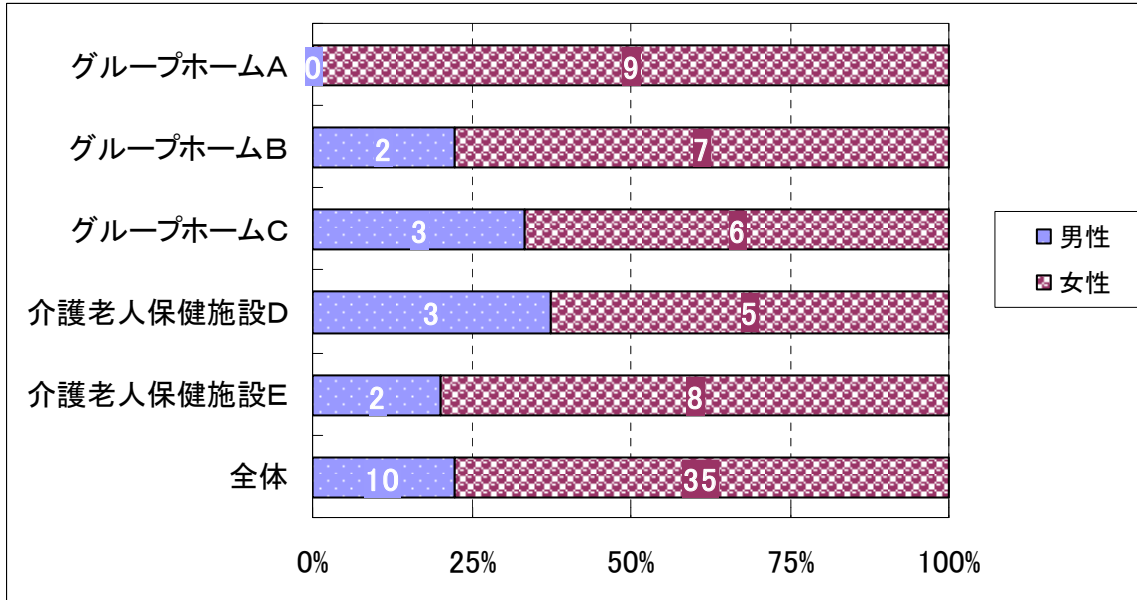
薬剤	該当者数 (45人中)	該当者割合
ドネペジル塩酸塩	15人	33.3%
インスリン	2人	4.4%
抗生物質	1人	2.2%
降圧薬	33人	73.3%
強心薬	3人	6.7%
抗精神病薬	5人	11.1%
抗不安薬	4人	8.9%
抗うつ薬	3人	6.7%
睡眠薬	13人	28.9%
利尿薬	2人	4.4%

※過去1か月間に与薬された薬剤。

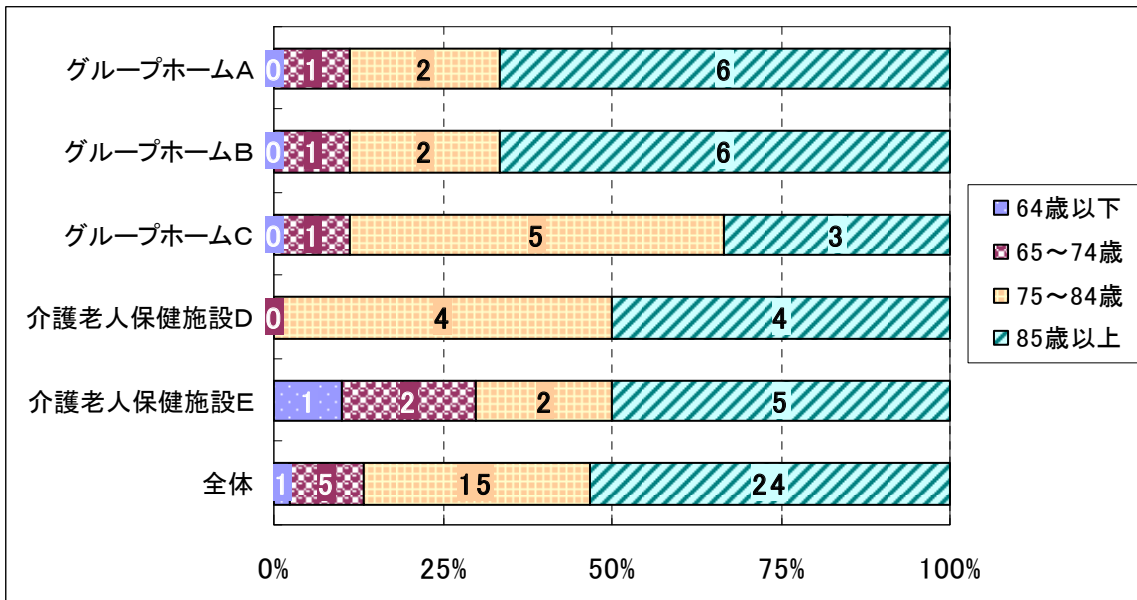
(2) 調査対象ユニットにおける状況別の高齢者数

属性・状況別の高齢者数を図表 3-1-7～図表 3-1-23 に示す。

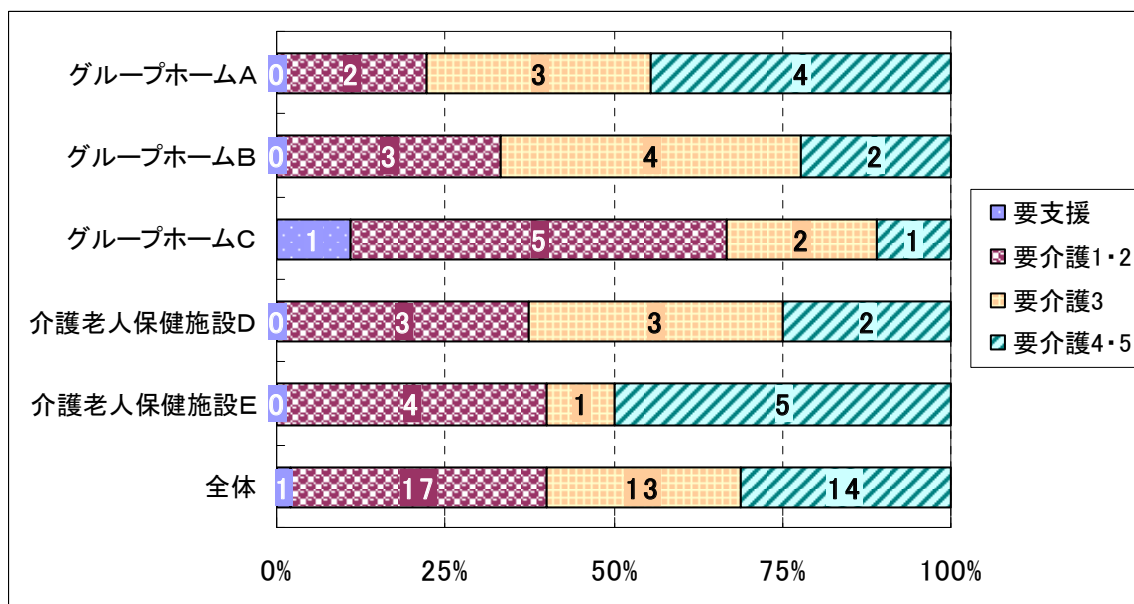
図表 3-1-7 性別の高齢者数



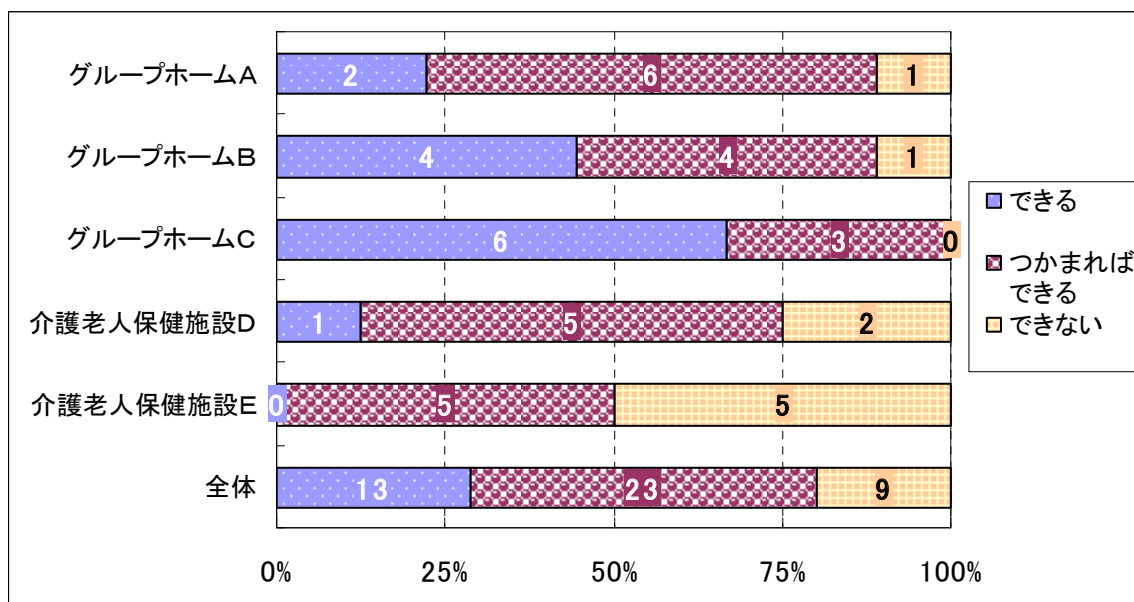
図表 3-1-8 年齢階級別の高齢者数



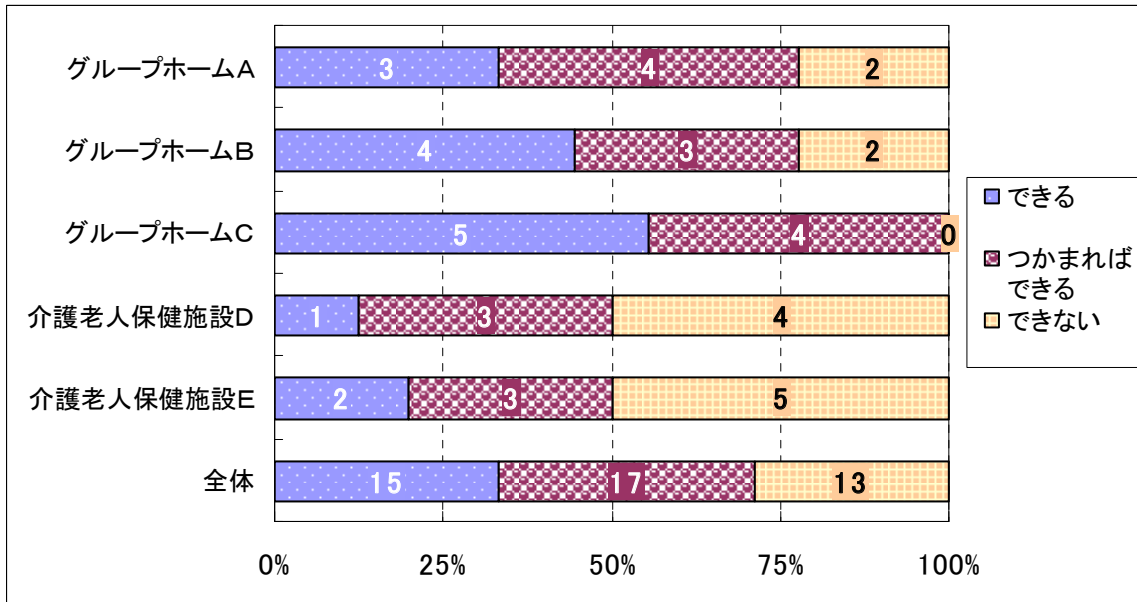
図表 3-1-9 要介護度別の高齢者数



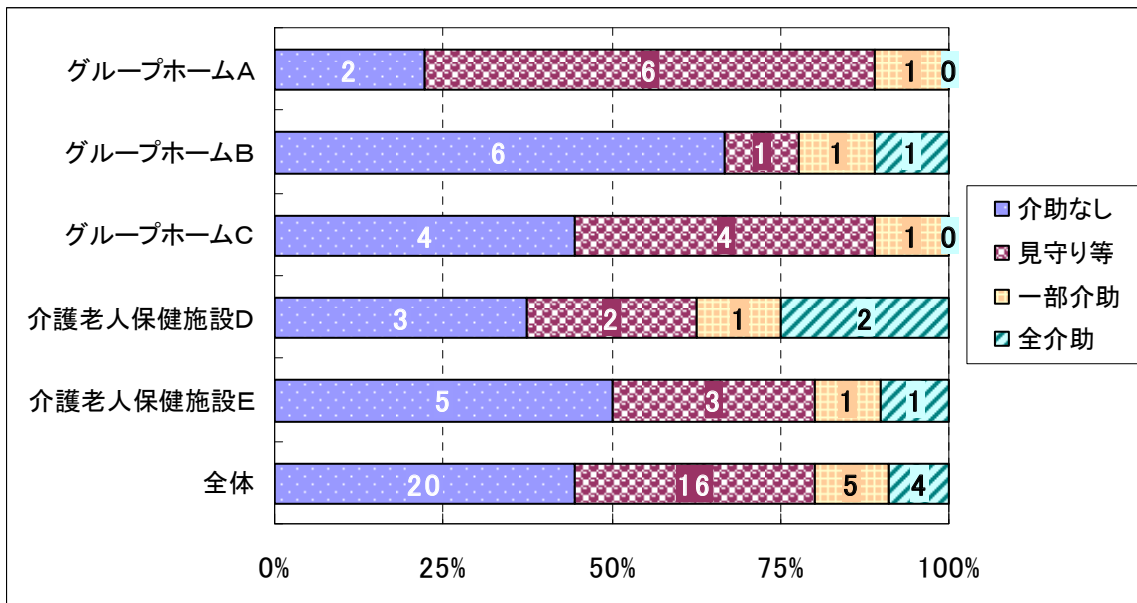
図表 3-1-10 起き上がりの状況別の高齢者数



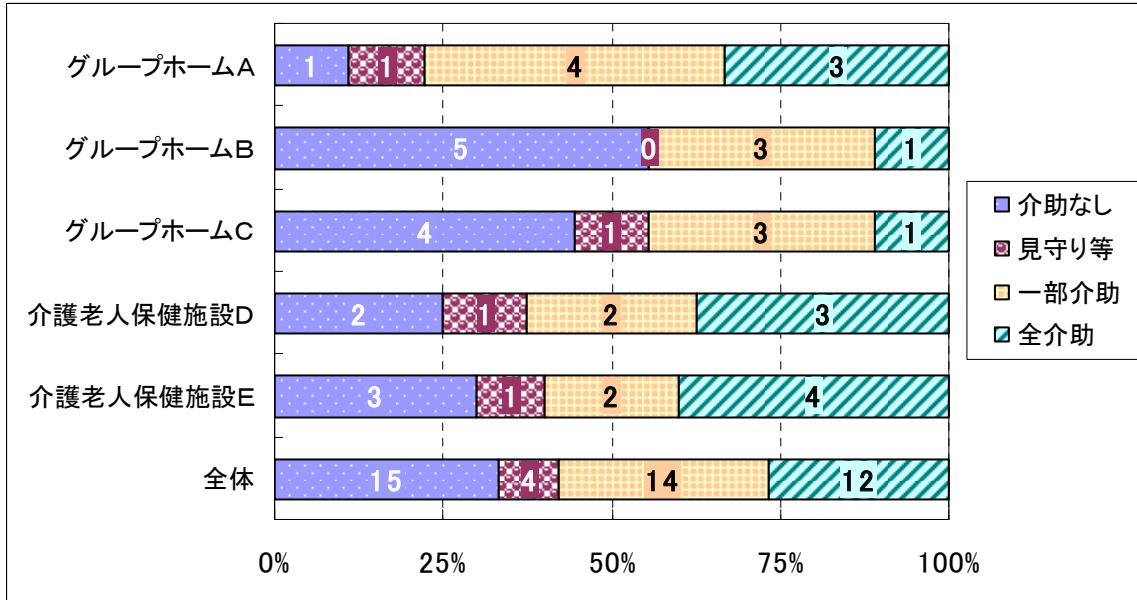
図表 3-1-11 歩行の状況別の高齢者数



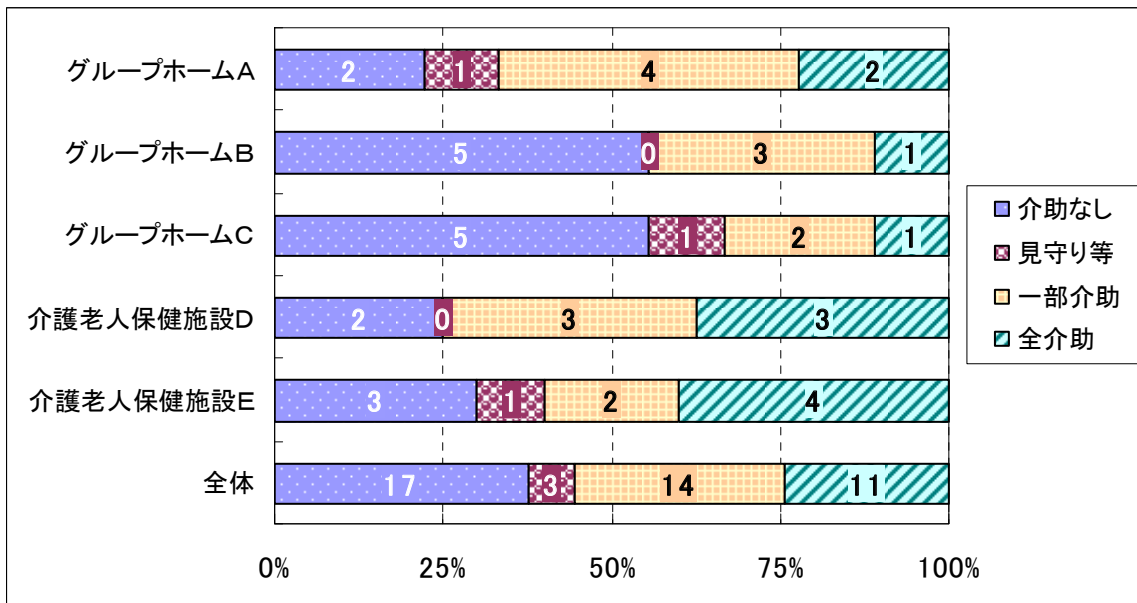
図表 3-1-12 食事摂取の状況別の高齢者数



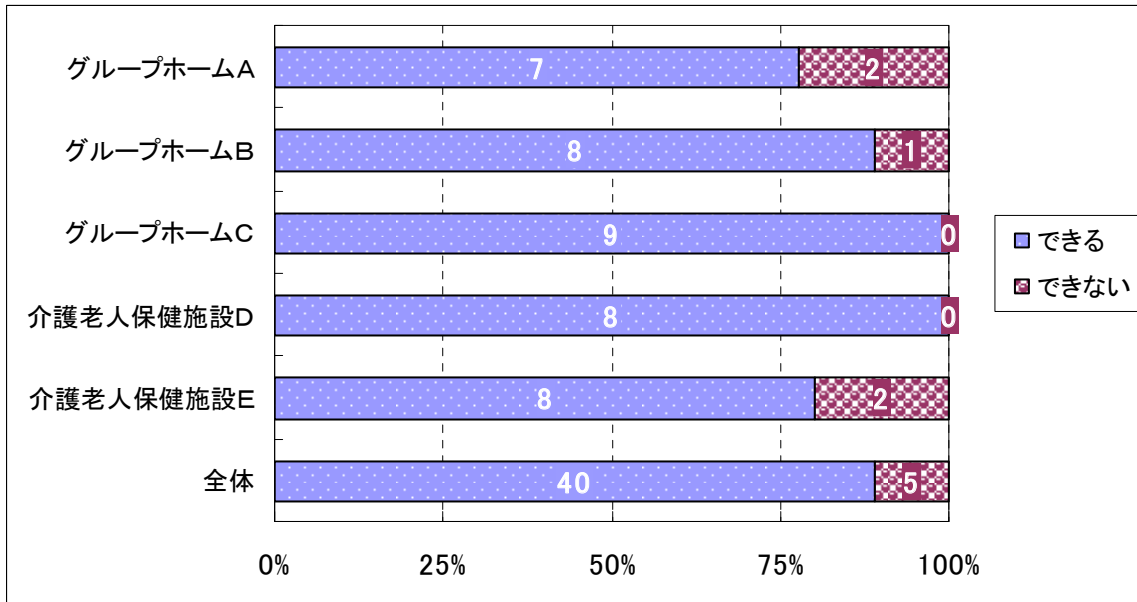
図表 3-1-13 排尿の状況別の高齢者数



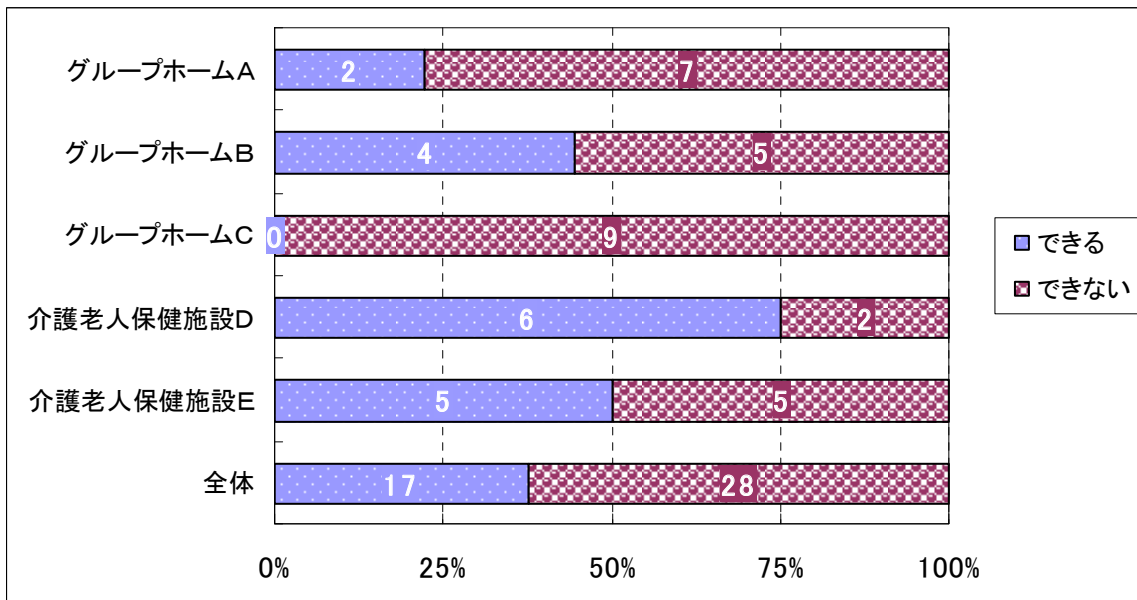
図表 3-1-14 排便の状況別の高齢者数



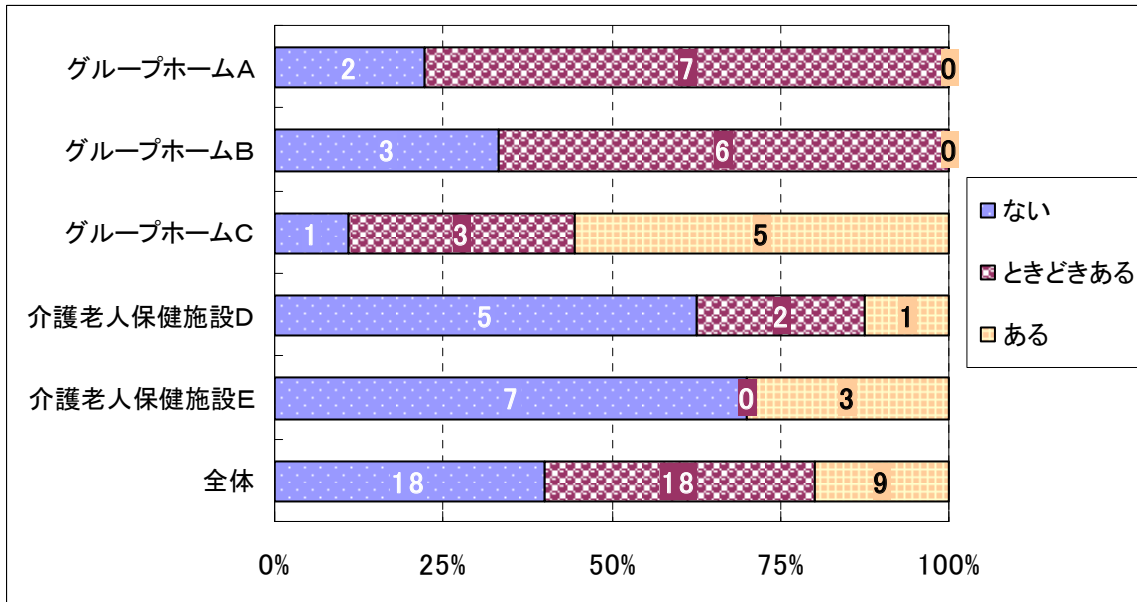
図表 3-1-15 自分の名前を言うことについての状況別の高齢者数



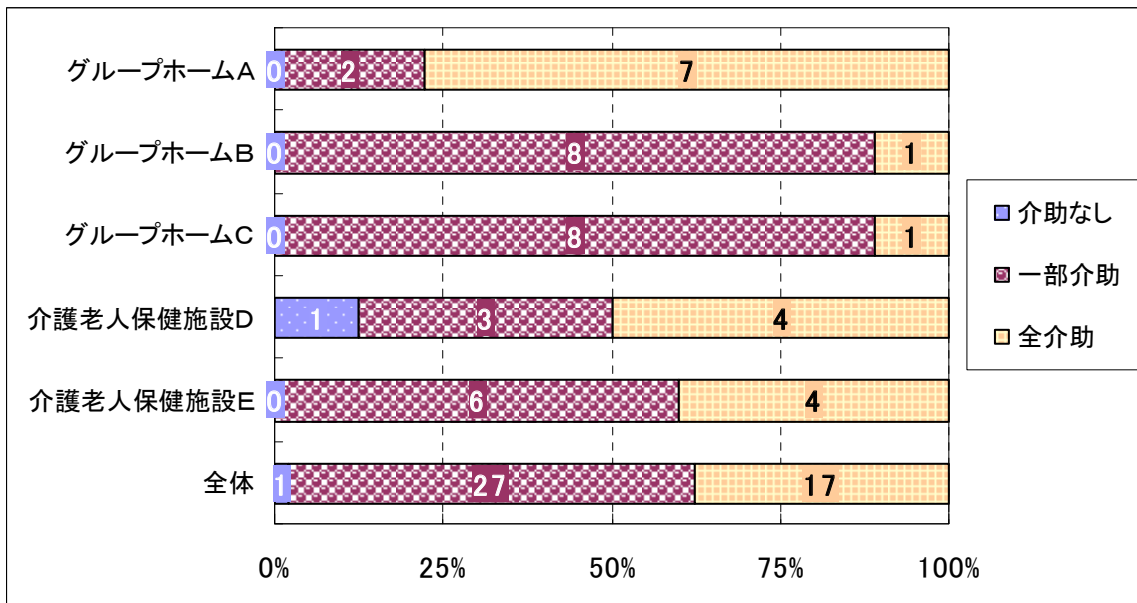
図表 3-1-16 場所の理解についての状況別の高齢者数



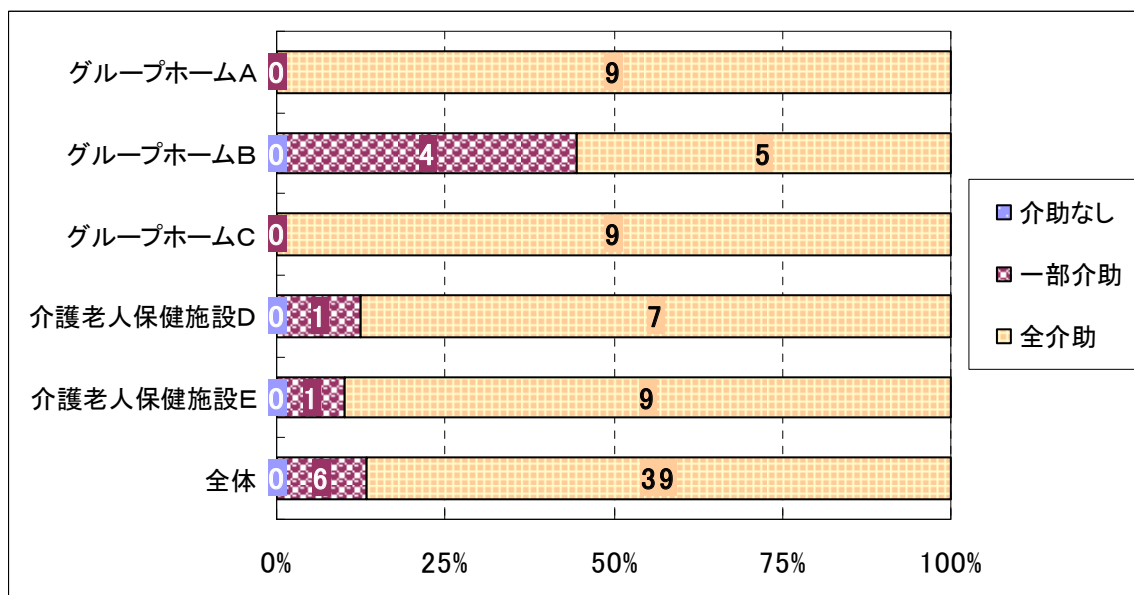
図表 3-1-17 介護に抵抗することについての状況別の高齢者数



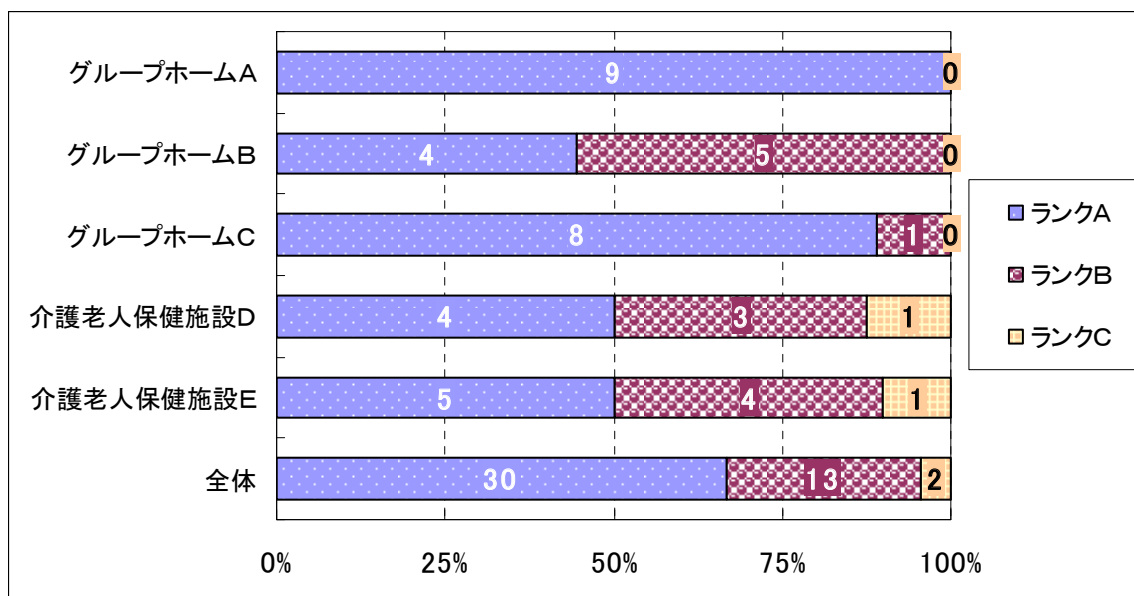
図表 3-1-18 薬の内服についての状況別の高齢者数



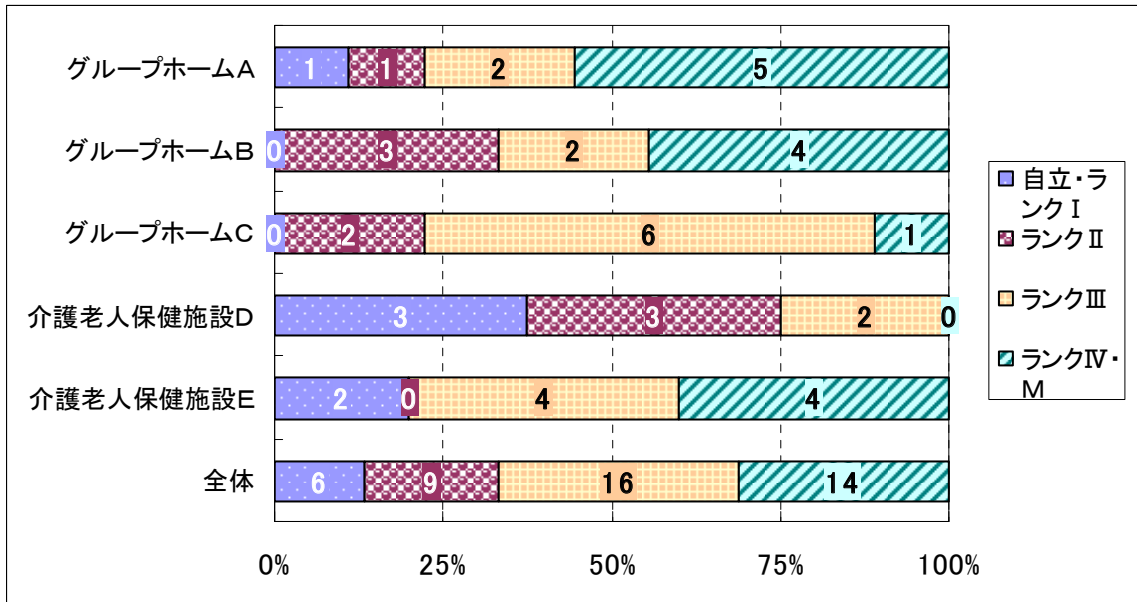
図表 3-1-19 金銭の管理についての状況別の高齢者数



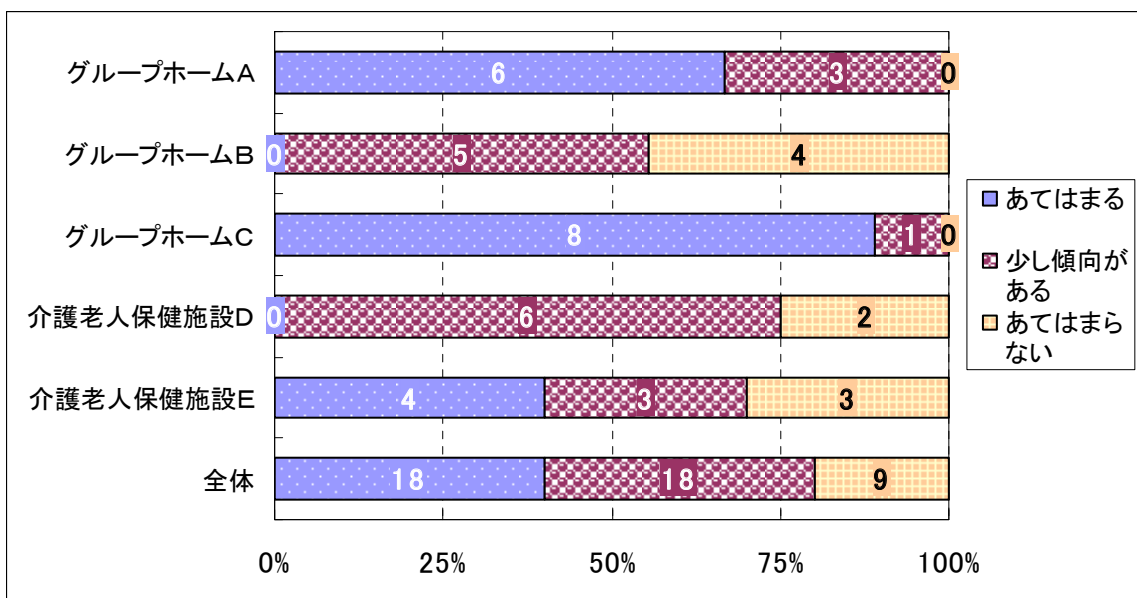
図表 3-1-20 障害高齢者の日常生活自立度別の高齢者数



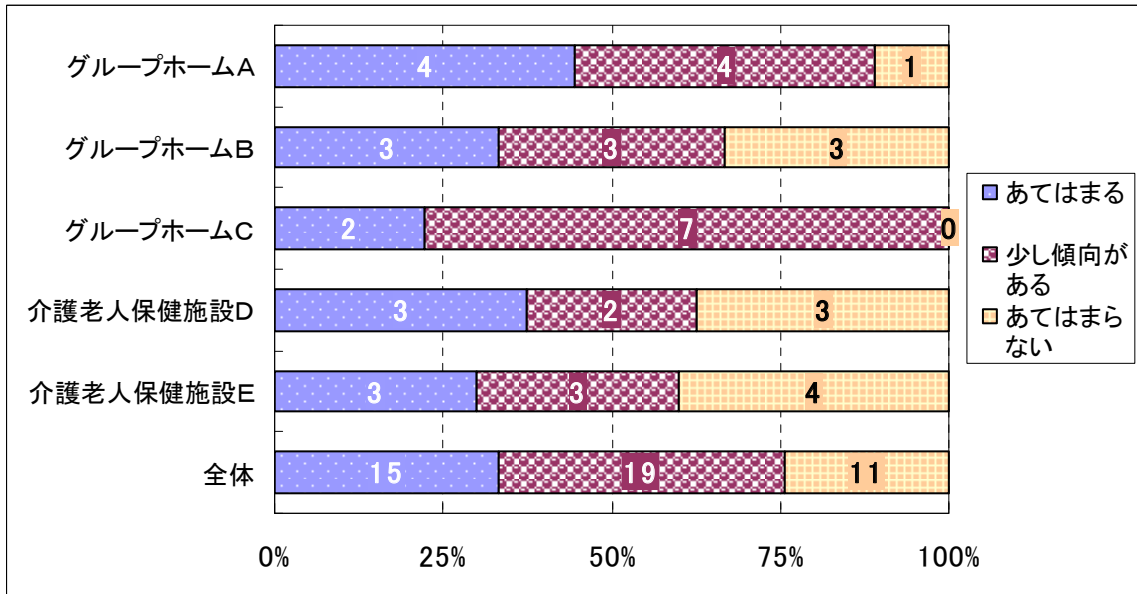
図表 3-1-21 認知症高齢者の日常生活自立度別の高齢者数



図表 3-1-22 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使うことについての状況別の高齢者数



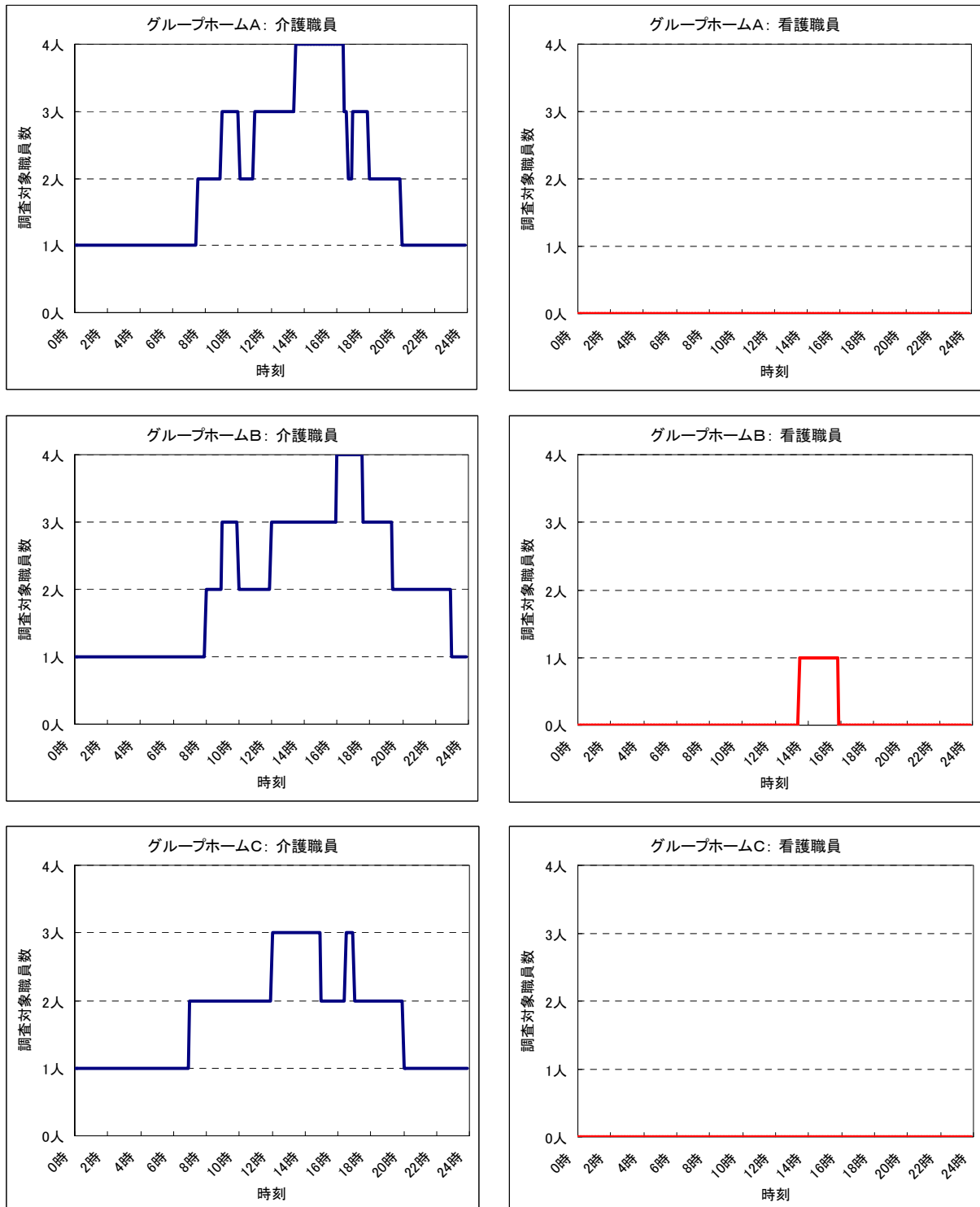
図表 3-1-23 意欲がなく、新しいことへの興味がないことについての状況別高齢者数



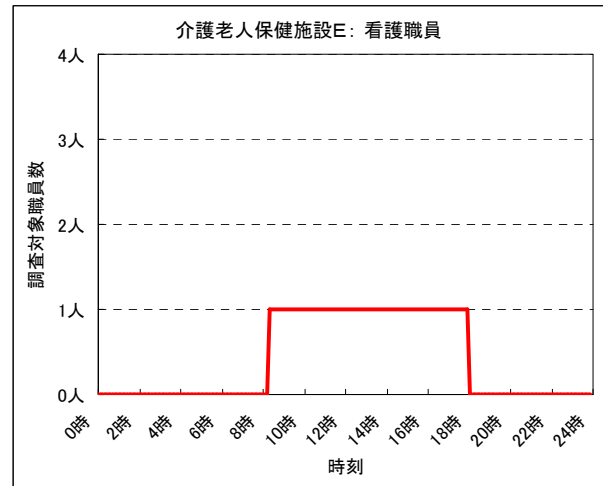
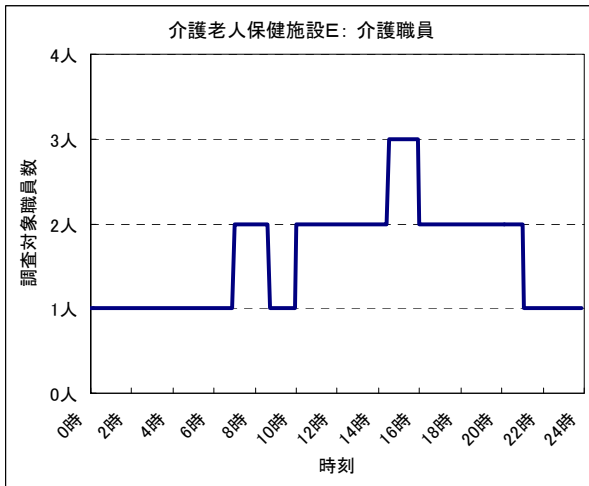
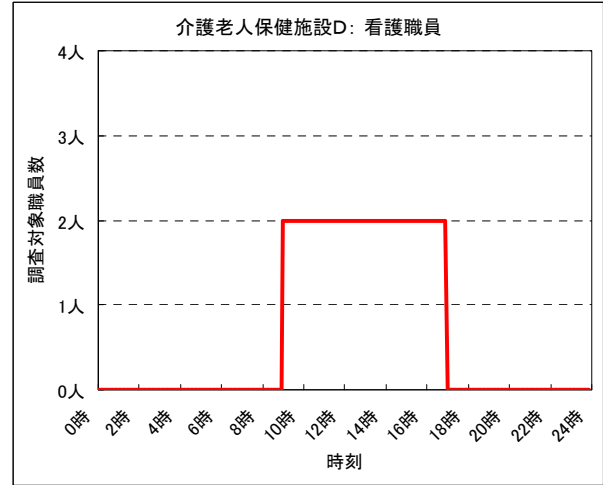
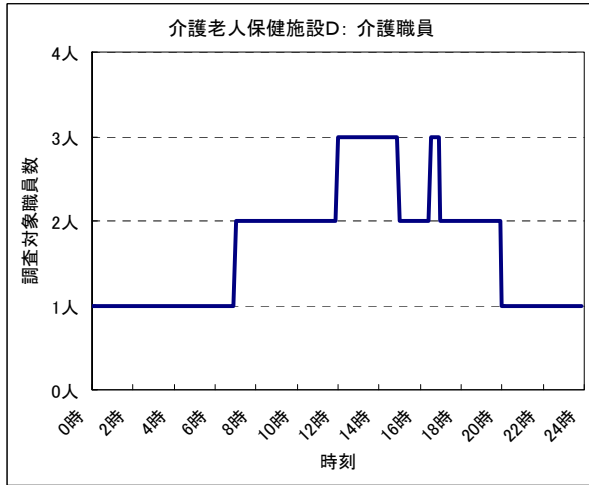
3.2 調査対象高齢者へのケア時間

調査対象ユニットにおける調査対象職員数の推移を図表 3-2-1、図表 3-2-2 に示す。また、調査対象高齢者 1 人 1 日当たりのケア時間の推移を図表 3-2-3、図表 3-2-4 に示す。

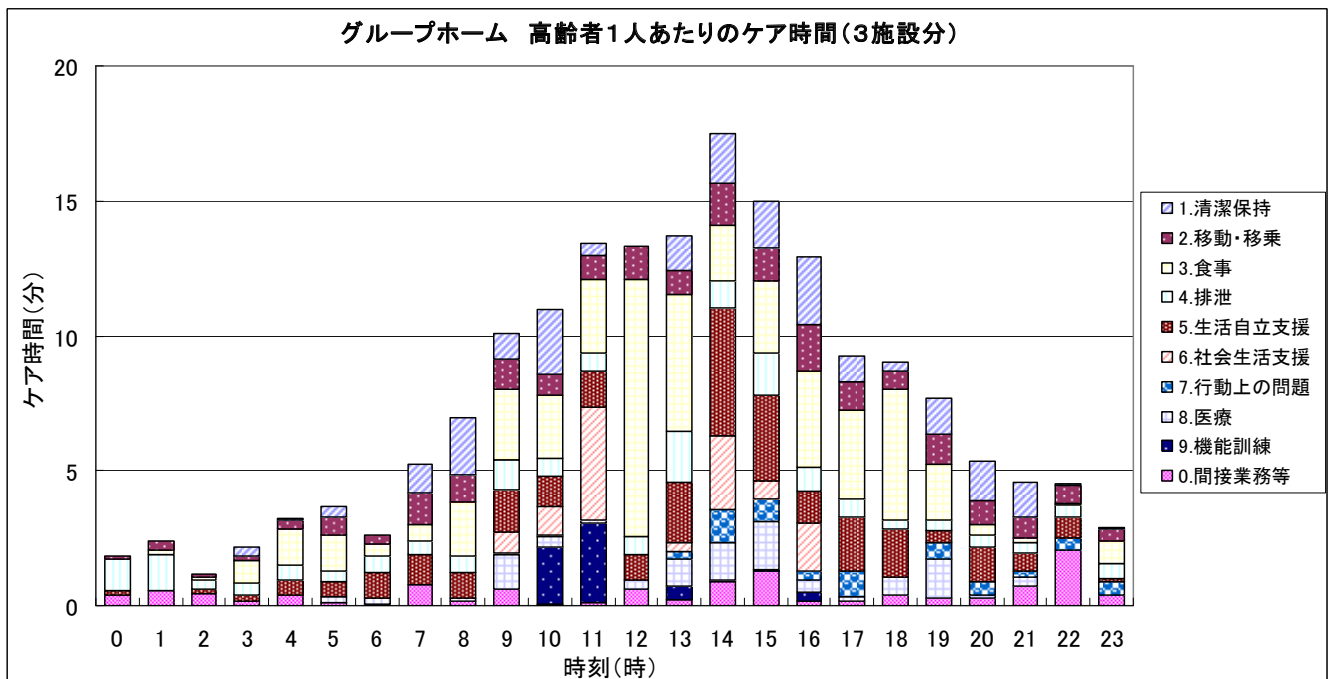
図表 3-2-1 グループホームの調査対象ユニットにおける調査対象職員数の推移



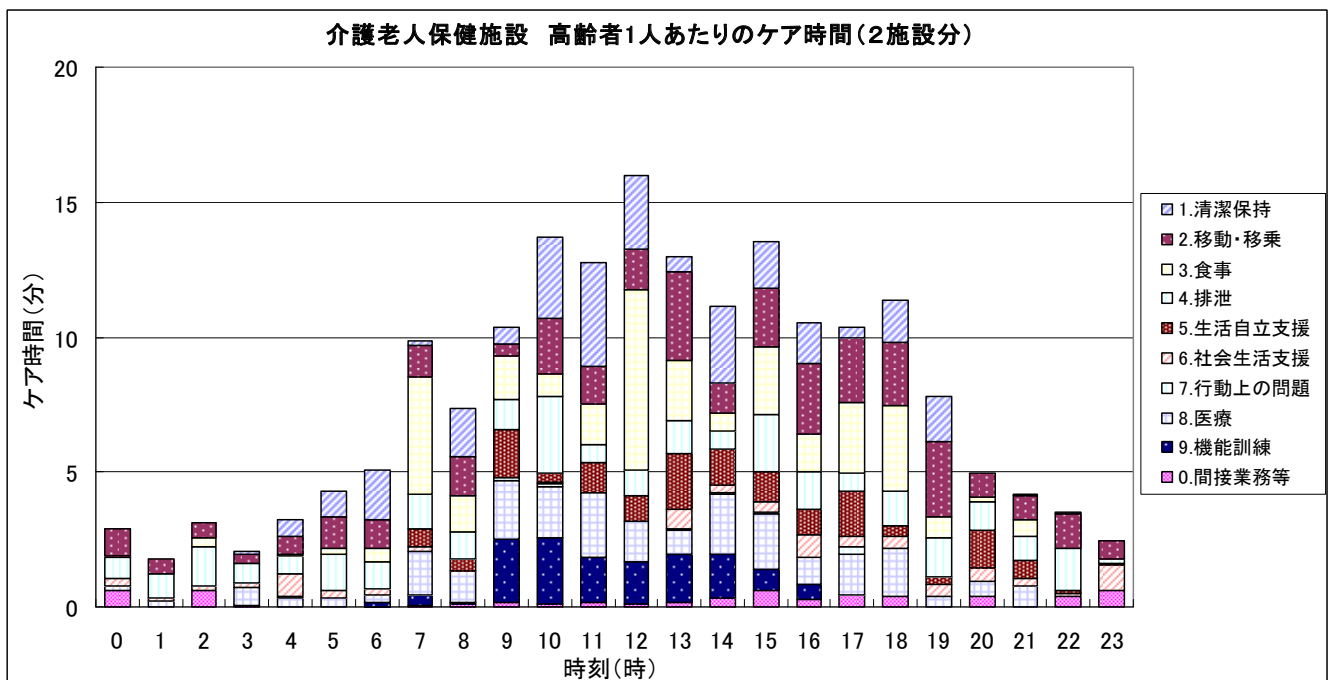
図表 3-2-2 介護老人保健施設の調査対象ユニットにおける調査対象職員数の推移



図表 3-2-3 グループホームの調査対象高齢者 1 人 1 日当たりのケア時間の推移

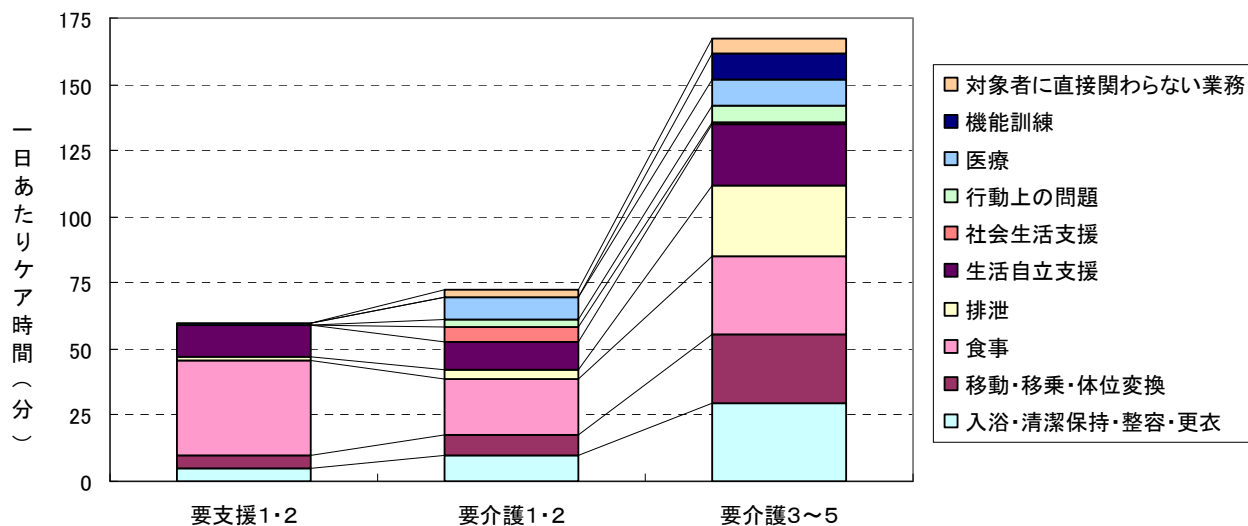


図表 3-2-4 介護老人保健施設の調査対象高齢者 1 人 1 日当たりのケア時間の推移

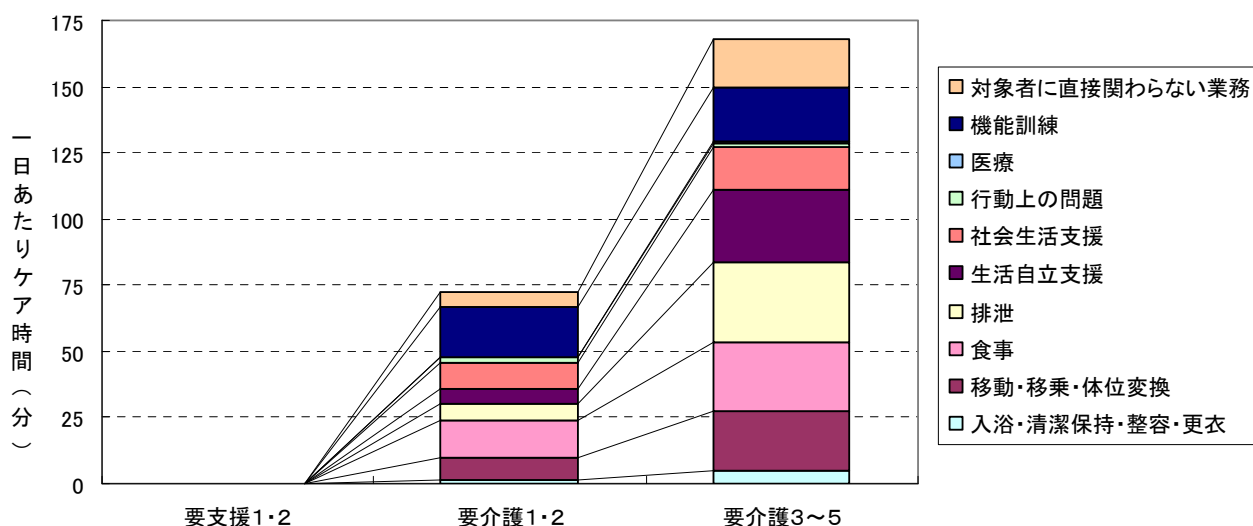


要介護度別の高齢者 1 人 1 日当たりのケア時間を図表 3-2-5、図表 3-2-6 に示す。

図表 3-2-5 グループホームの要介護度別の調査対象高齢者 1 人 1 日当たりの個別ケア時間



図表 3-2-6 介護老人保健施設の要介護度別の調査対象高齢者 1 人 1 日当たりの個別ケア時間



3.3 個別ケアに関する分析

ケアコードの中分類(上位2桁)別に個別ケア時間を集計した結果を、図表 3-3-1 及び図表 3-3-2 に示す。
 なお、職員が高齢者 1 人に対して提供したケアを“個別ケア”とした。

図表 3-3-1 グループホームにおける中分類別の個別ケア時間

中分類		個別ケア時間		
コード	内容	グループホームA	グループホームB	グループホームC
11	入浴	105分	105分	75分
14	洗面・手洗い	—	34分	—
15	口腔・耳ケア	44分	—	—
17	整容	—	—	40分
18	更衣	46分	47分	—
21	敷地内の移動	172分	70分	56分
22	移乗	41分	62分	—
31	調理	—	—	30分
33	食器洗浄・食器の片づけ	—	94分	43分
34	摂食	63分	108分	48分
35	水分補給	97分	73分	—
41	排尿	189分	176分	36分
59	コミュニケーション支援	103分	149分	113分
71	行動上の問題の発生時の対応	—	83分	—
81	薬剤の使用	48分	91分	—
84	観察・測定・検査	—	42分	—
91	基本日常生活訓練	61分	38分	—
92	応用日常生活訓練	36分	—	—

※個別ケア時間が 30 分以上の中分類のみを示している。

※“—”は、当該施設では当該ケアコードの個別ケアが 30 分未満であったことを意味している。

図表 3-3-2 介護老人保健施設における中分類別の個別ケア時間

中分類		個別ケア時間	
コード	内容	介護老人保健施設D	介護老人保健施設E
11	入浴	53分	156分
15	口腔・耳ケア	52分	65分
18	更衣	60分	44分
21	敷地内の移動	137分	122分
22	移乗	33分	86分
25	その他の体位変換	31分	154分
34	摂食	211分	211分
35	水分補給	—	64分
41	排尿	77分	234分
42	排便	35分	142分
58	その他の日常生活支援	41分	35分
59	コミュニケーション支援	101分	123分
81	薬剤の使用	—	113分
82	呼吸器・循環器・消化器・泌尿器にかかる処置	38分	75分
83	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置	62分	—
84	観察・測定・検査	33分	66分
86	病気の症状への対応	36分	—
91	基本日常生活訓練	59分	—
92	応用日常生活訓練	51分	—
93	言語・聴覚訓練	42分	—

※個別ケア時間が 30 分以上の中分類のみを示している。

※“—”は、当該施設では当該ケアコードの個別ケアが 30 分未満であったことを意味している。

3.4 ケアコードに関する分析

本調査では、H18年高齢者介護実態調査のケアコード（3桁の数字）を基幹コードとし、前置の1文字の英字コード、後置の2文字の英字コードで修飾したものをケアコードとした。

後置の修飾コードで詳細情報を表現している。例えば、基幹コードでは、BPSDに対するケアを行ったことは記録できるが、どのようなBPSDだったかは記録できないので、「徘徊」、「暴言」等のBPSDの内容を詳細情報として付加することができるようにした。

ケアコードの中分類(上位2桁)に対して、後置の修飾コードが付加された頻度を集計した結果を図表3-4-1～図表3-4-9に示す(コードの意味は附録Bを参照)。

図表 3-4-1 大分類1(入浴・清潔保持・整容・更衣)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	11	12	13	14	15	16	17	18	19
a	43件			1件				3件	
b	79件				20件				
c	1件							2件	
d	33件								
e							1件		
f									
g	37件	2件							
h	13件			3件					
i									
j	8件			1件			14件		1件
k							26件		
l									
m	2件				70件				
n	4件			2件	83件		1件		
o					11件		1件	11件	
p	49件			1件	9件			15件	1件
総計	269件	2件		8件	193件		43件	31件	2件

図表 3-4-2 大分類 2(移動・移乗・体位変換)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	21	22	23	24	25	26	27	28	29
a	80件	12件	1件	3件		1件			
b	33件	5件	3件	2件			1件		
c	122件	121件		3件	28件				
d									
e	17件	46件	18件	2件	119件				
f	12件	8件	2件		1件				
総計	264件	192件	24件	10件	148件	1件	1件		

図表 3-4-3 大分類 3(食事)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	31	32	33	34	35	36	37	38	39
a	20件	32件		502件	61件				3件
b				114件					
c		5件							
d									
e	1件								
f	17件			3件	5件				1件
g	11件	2件		73件	27件				1件
総計	49件	39件		692件	93件				5件

図表 3-4-4 大分類 4(排泄)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	41	42	43	44	45	46	47	48	49
a	294件	84件							
b	61件	25件							
c	54件	22件							
d	7件								
e	6件								
f									
g	74件	3件			7件				
h		4件							
i	5件								
j	11件	5件							
k	97件	25件							
総計	609件	168件			7件				

図表 3-4-5 大分類 5(生活自立支援)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	51	52	53	54	55	56	57	58	59
a								31件	10件
b									7件
c								65件	7件
d		3件						4件	3件
e									3件
f		1件							8件
総計		4件						100件	38件

図表 3-4-6 大分類 6(社会生活支援)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	61	62	63	64	65	66	67	68	69
a	18件	26件							
b				19件					
c									
d									
e									
f									
g									
h									
i	6件	18件							
総計	24件	44件		19件					

図表 3-4-7 大分類 7(行動上の問題)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	71	72	73	74	75	76	77	78	79
a	2件	15件	10件						
b									
c									
d									
e			2件						
f									
g									
h									
i									
総計	2件	15件	12件						

図表 3-4-8 大分類 8(医療)の修飾コード付加の頻度

英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	81	82	83	84	85	86	87	88	89
a	8件		4件						
b									
c	10件	112件							
d	1件								
e	298件	1件							
f	1件								
g			1件						1件
h									
i									
j		22件							
k									
l		3件							
m				73件					
n									
o		1件		39件		2件			
p						2件			
q			1件						
総計	318件	139件	6件	112件		4件			1件

図表 3-4-9 大分類 9(機能訓練)の修飾コード付加の頻度

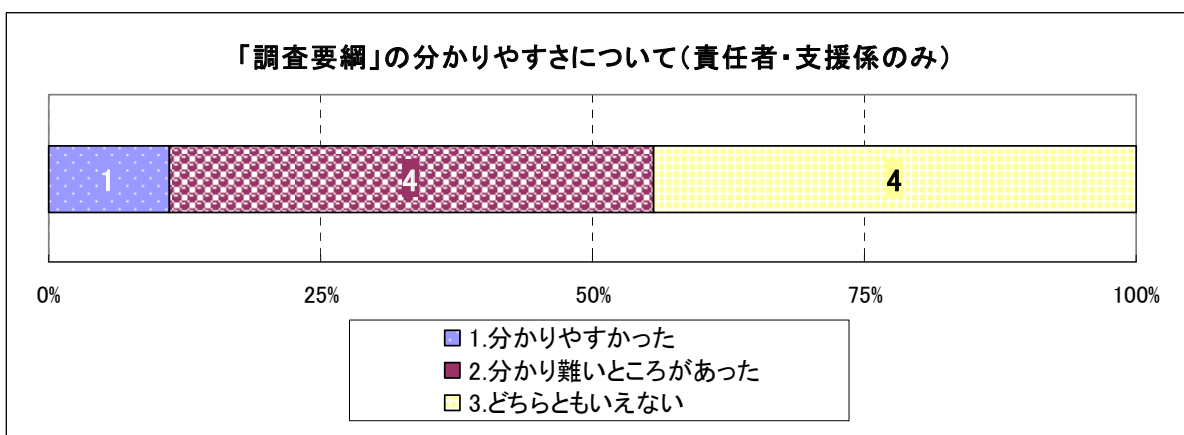
英字コード	ケアコード(中分類)へ後置の修飾コードを付加した頻度								
	91	92	93	94	95	96	97	98	99
a	8件								
b	4件		12件						
c			3件						
d	4件								
e	1件	13件		2件					
f	32件		2件						
g									
h		14件		3件					
i	36件	10件	14件	12件					
j									
k									
l									
m	24件		3件		9件				
総計	109件	37件	34件	17件	9件				

3.5 調査実施者の意見等

実施における課題を抽出することを目的として、調査実施者（調査責任者、調査支援係、調査員）を対象として事後調査を行った。

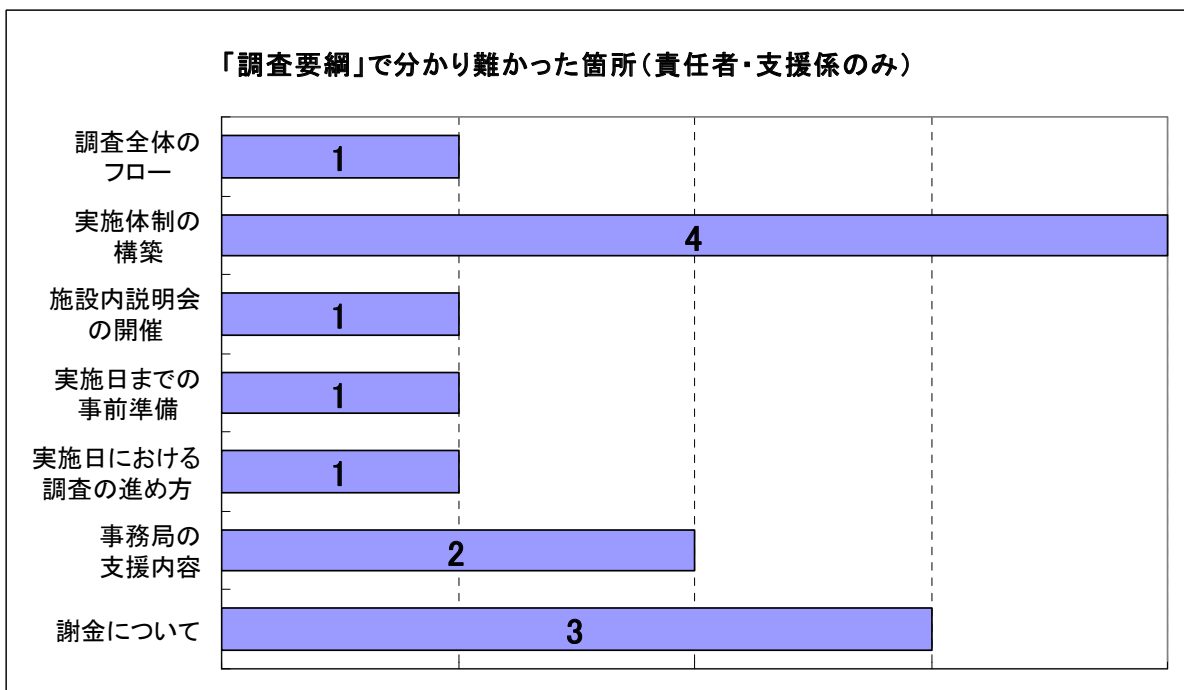
「調査要綱」とは、調査責任者と調査支援係に向けて、調査全体の進め方を説明した資料である。図表 3-5-1 に「調査要綱」の分かりやすさについての回答結果を示す。また、図表 3-5-2 にどこが分かり難かったかの回答結果を示す。

図表 3-5-1 「調査要綱」の分かりやすさについて



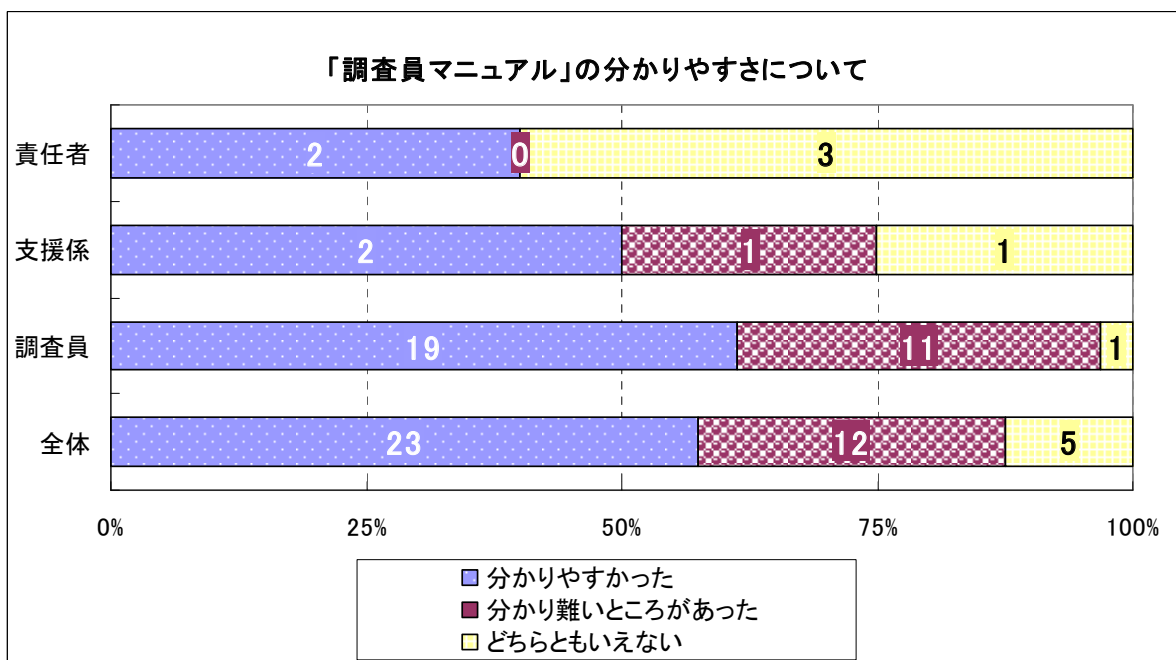
※グラフ中の数値は、回答数である。(以下同様)

図表 3-5-2 「調査要綱」のどこが分かり難かったか

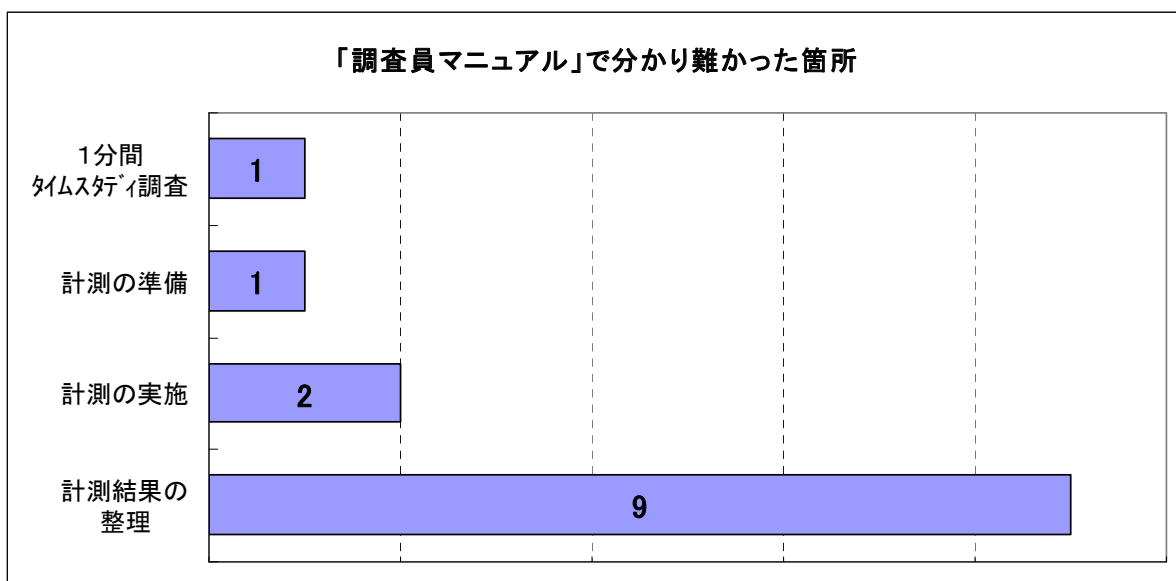


「調査員マニュアル」とは、調査対象職員に付いてケア時間を計測する調査員に向けて、ケア時間計測の方法を説明した資料である。図表 3-5-3 に「調査員マニュアル」の分かりやすさについての回答結果を示す。また、図表 3-5-4 にどこが分かり難かったかの回答結果を示す。

図表 3-5-3 「調査員マニュアル」の分かりやすさについて



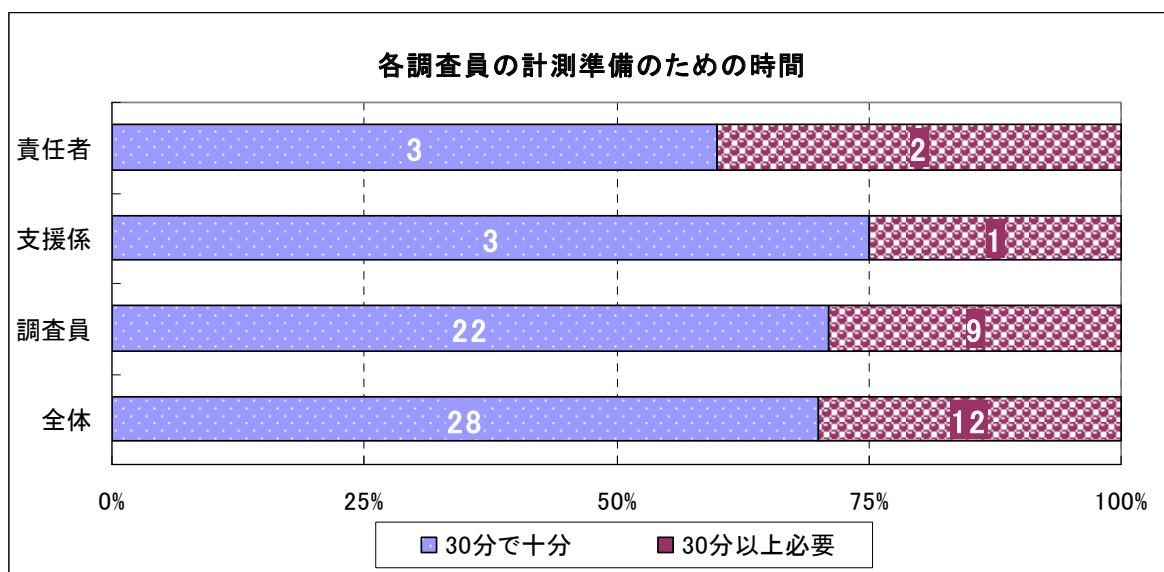
図表 3-5-4 「調査員マニュアル」のどこが分かり難かったか



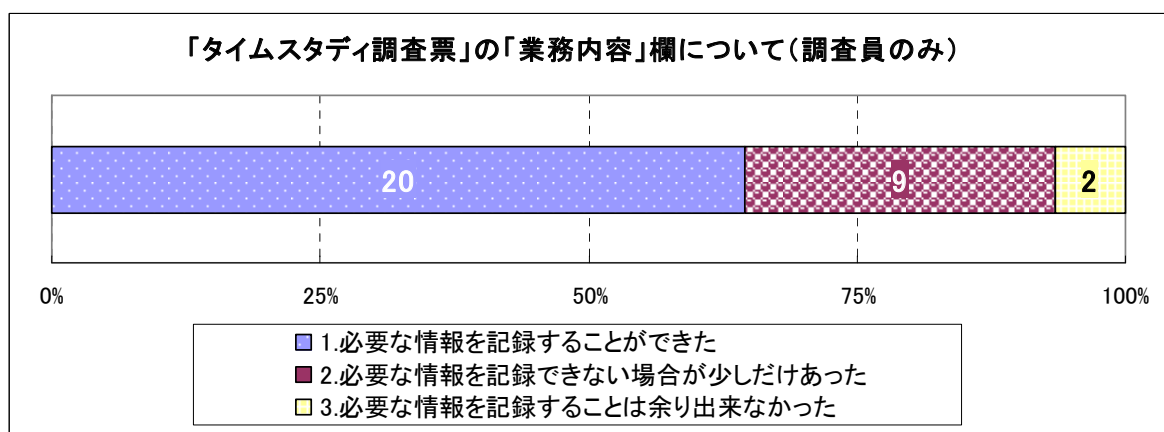
調査員には、計測開始の 30 分前までに来てもらい計測の準備をしてもらった。計測準備時間が 30 分で十分であったかの回答結果を図表 3-5-5 に示す。全体でみると、7 割程度が 30 分で十分であると回答した。

調査員は、担当した職員の業務内容をタイムスタディ調査票に記録し、計測終了後に業務内容をケアコードに変換しなければならない。ケアコード変換に必要な内容を記録できたかの回答結果を図表 3-5-6 に示す。

図表 3-5-5 調査員の計測準備時間について



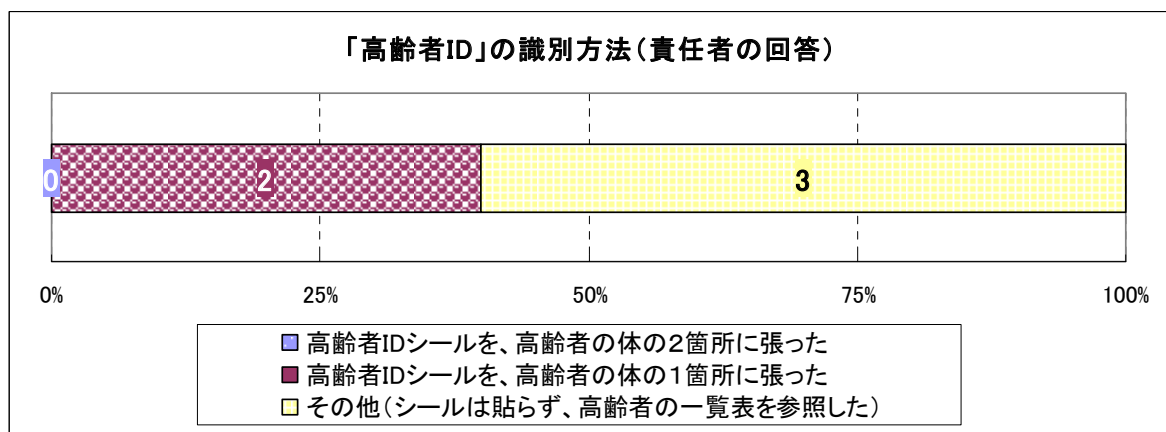
図表 3-5-6 ケアコード変換に必要な業務内容の記録について



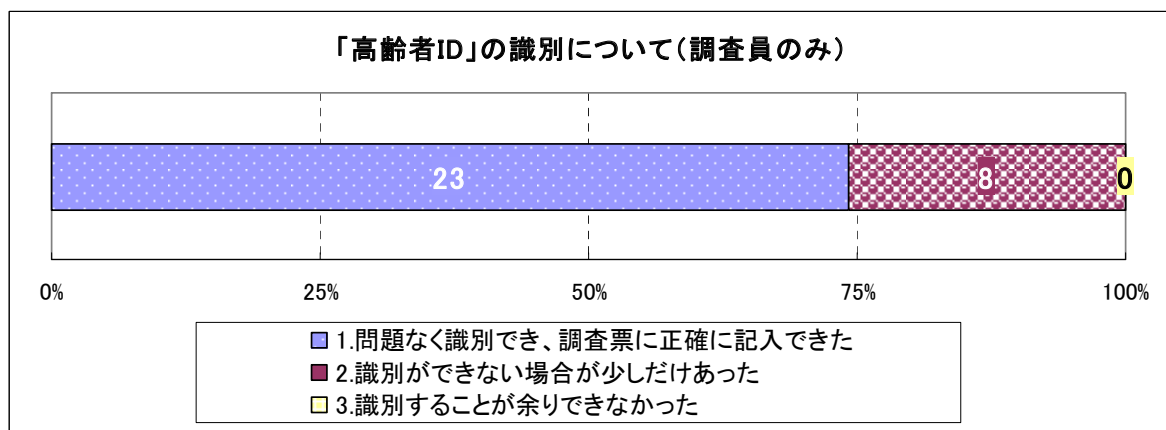
「調査要綱」では、調査対象高齢者の背中に ID シールを貼ってもらうようお願いしている。高齢者のなかには、ID シールを不快に感じる方がいると思われるので、高齢者 ID の識別方法について訊いた。回答結果を図表 3-5-7 に示す。

また、調査員が高齢者 ID をタイムスタディ調査票へ正確に記入することができたかについて、回答結果を図表 3-5-8 に示す。

図表 3-5-7 高齢者 ID の識別方法について

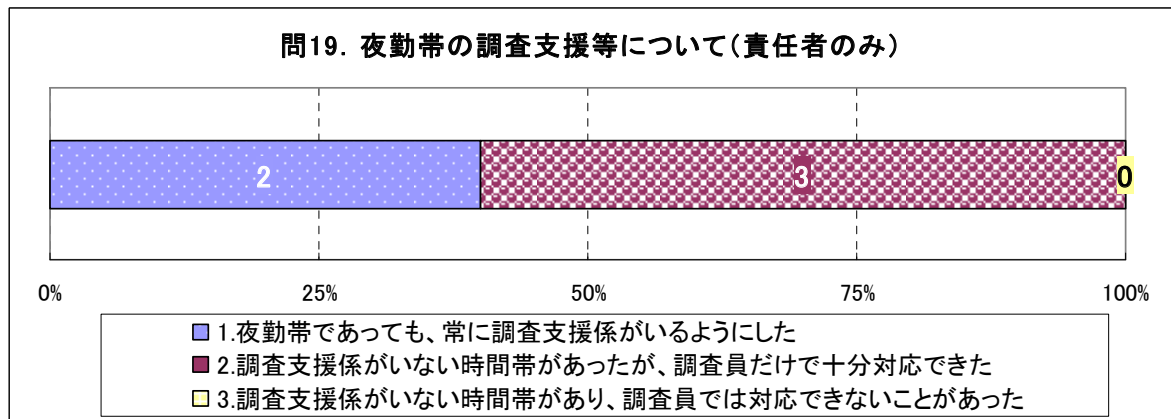


図表 3-5-8 高齢者 ID が識別できたかについて



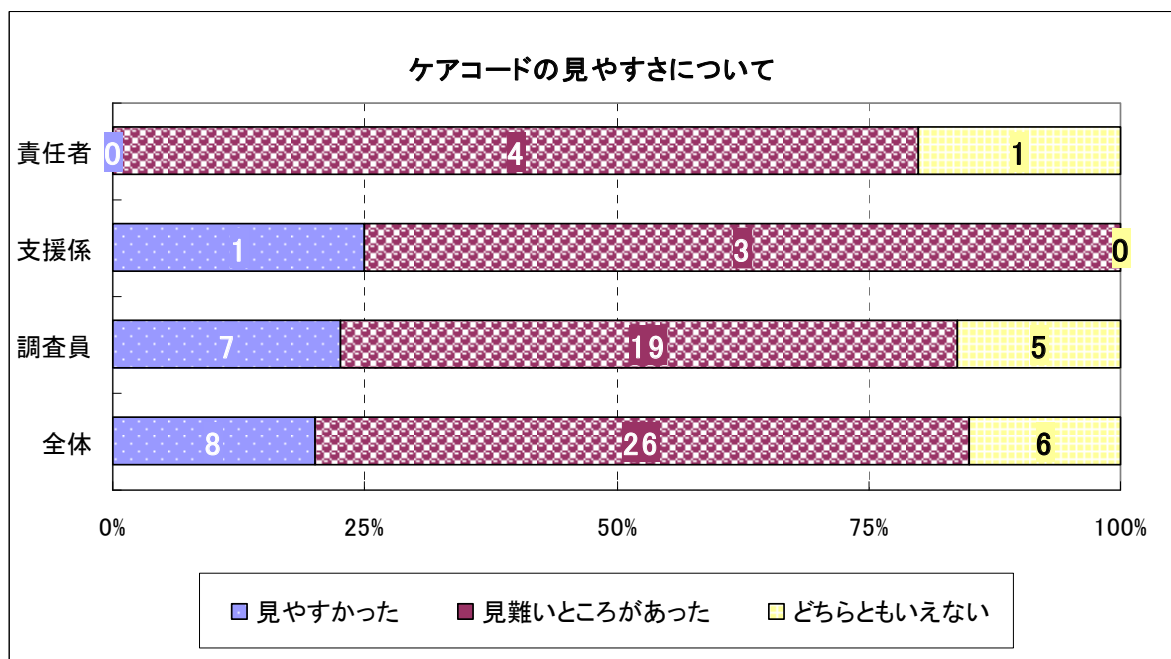
本タイムスタディ調査では、連続した 24 時間にわたり計測を行った。夜勤帯においても計測を行うことになるため、夜勤帯の調査実施体制について訊いた。回答結果を図表 3-5-9 に示す。

図表 3-5-9 夜勤帯の調査実施体制について



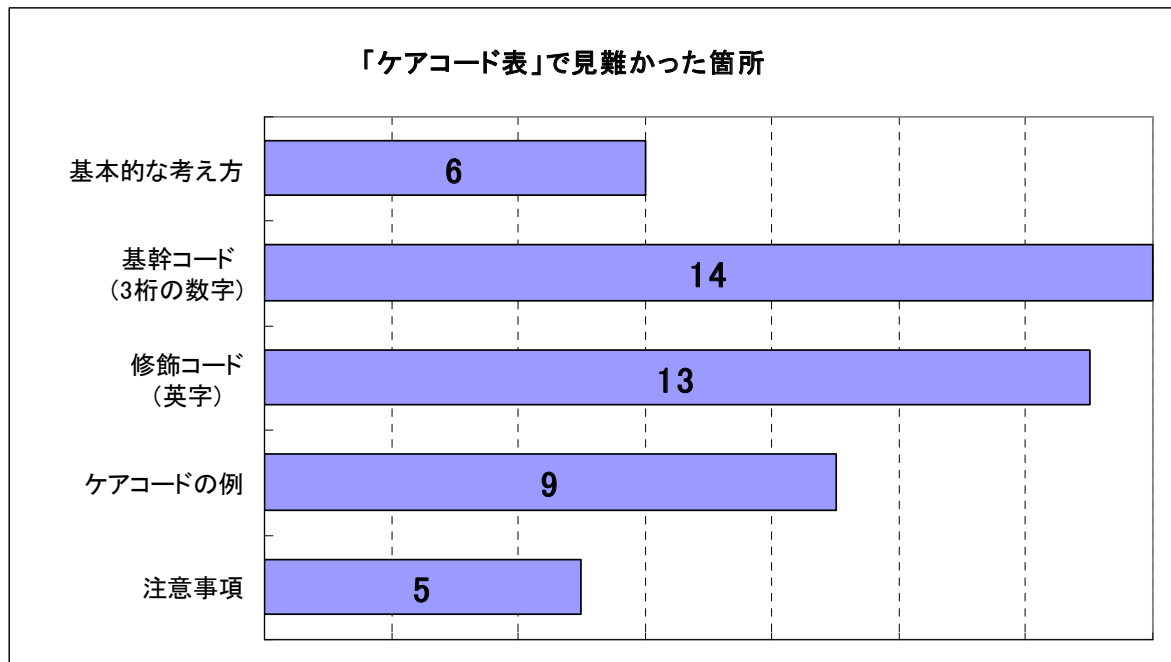
タイムスタディ調査で計測したケア時間は、ケアコードごとに集計・分析することになる。どのようなケア内容にどの程度の時間をかけているかを把握する上で、業務内容を的確にケアコードへ変換することが重要となる。「ケアコード表」の見やすさについての回答結果を図表 3-5-10 に示す。

図表 3-5-10 「ケアコード表」の見やすさについて

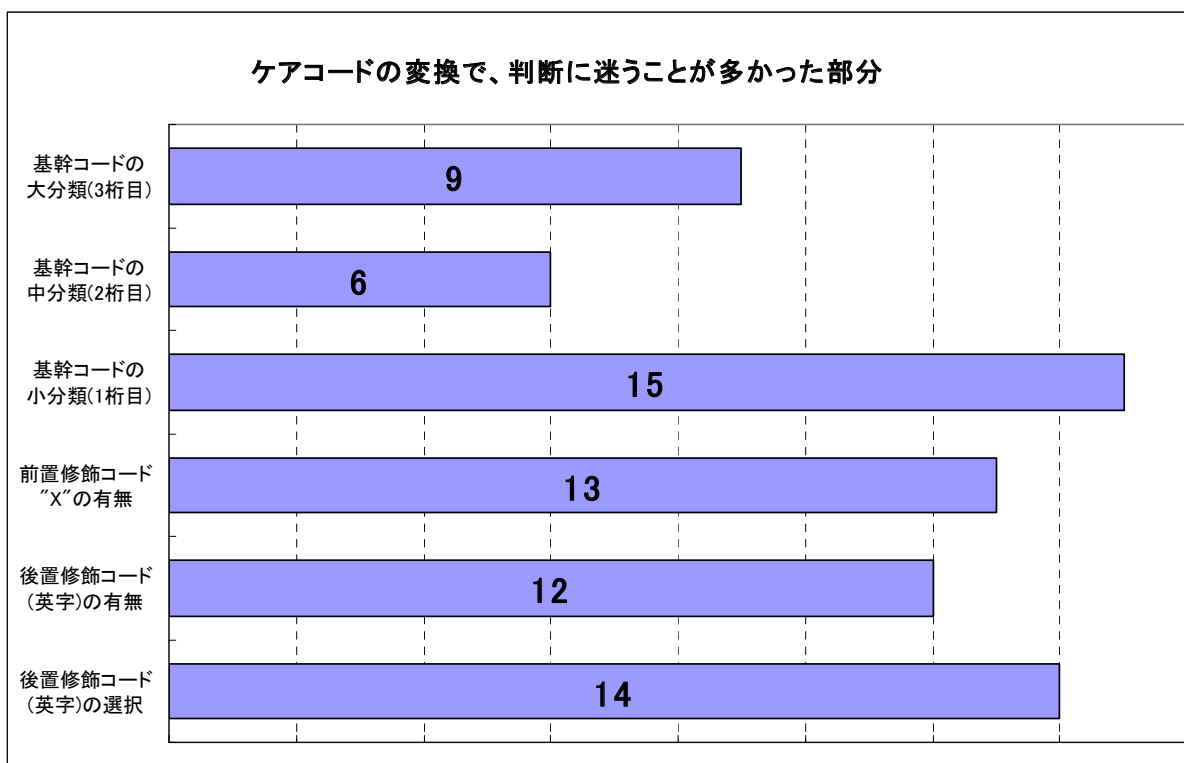


「ケアコード表」で分かり難かった箇所についての回答結果を図表 3-5-11 に、ケアコード変換で判断に迷うことが多かった部分についての回答結果を図表 3-5-12 に示す。

図表 3-5-11 「ケアコード表」で分かり難かった箇所について



図表 3-5-12 ケアコード変換で判断に迷うことが多かった部分について



4. まとめ

本調査は、施設系の居宅サービスであるグループホームにまで調査範囲を広げて、高齢者の心身状態の評価、提供される介護サービスの時間測定(タイムスタディ)について、その方法論を検討するとともに、実施における課題を抽出することを目的として実施した。

本調査への協力施設数は、グループホーム 3 施設、ユニット型の介護老人保健施設 2 施設であった。各施設から調査対象ユニットを 1 つ選定してもらい、調査対象ユニットの高齢者の状態、受けているケアの内容及び時間を調査分析した。調査対象高齢者 45 人のうち 49%がアルツハイマー病の認知症であり、22%が血管性認知症であった。前頭側頭型認知症およびレビー小体型認知症を含む“他に分類されるその他の疾患の認知症”は 9%であった。

0 時から 24 時までの 1 時間ごとの高齢者 1 人当たりのケア時間の推移をみると、グループホームと介護老人保健施設で大きな違いはなかった。要介護度別の高齢者 1 人 1 日当たりの個別ケア時間についても、グループホームと介護老人保健施設で大きな違いはなかった。なお、“個別ケア”とは 1 人の高齢者だけに対して提供されたケアとしている。ただし、ケアの内容には違いがみられた。

個別ケア時間をケアコード別に集計した結果、いずれの施設においても「食事」、「排泄」、「入浴」の三大介護や「敷地内の移動」、「移乗」に多くの時間をかけていた。また、「コミュニケーション支援」にも多くの時間をかけており、なかでも挨拶・日常会話であるとか、心理的支援や訴えの把握に時間をかけていることが分かった。調査対象高齢者の 2 割は、介護に抵抗することがあり、ときどき抵抗することがある者を含めると 6 割になるが、「行動上の問題」について多くの時間をかけることはなかった。コミュニケーションを十分とすることで、行動上の問題の発生が抑えられていると考えることができる。

調査実施に参加した人への事後調査結果から、ケアコード表を分かりやすくし、業務内容をケアコードに変換する部分について、より詳しく丁寧な説明が必要であると考えられる。

また、高齢者 ID シールを背中に貼ってもらうようお願いしていたが、シールを貼ることをいやがる高齢者がいるなどの理由から、3 施設ではシールを貼らずに高齢者を識別していた。誰にケアを提供していたかを記録することは重要であるので、識別方法の工夫が今後の課題といえる。

調査対象高齢者数はグループホームが 27 人、介護老人保健施設が 18 人であり、高齢者の状態とケア時間の関連性を分析できる規模(調査対象高齢者数)として十分とはいえない。今回の調査の計測手法を用いてより大規模な調査を実施することにより、高齢者の状態とケア時間との関連性の分析が可能となるであろう。今回の調査では、調査実施責任者や調査員への事後調査をおこない、調査実施上の課題や改善点を整理しているので、大規模調査の円滑な実施に役立てていただきたい。

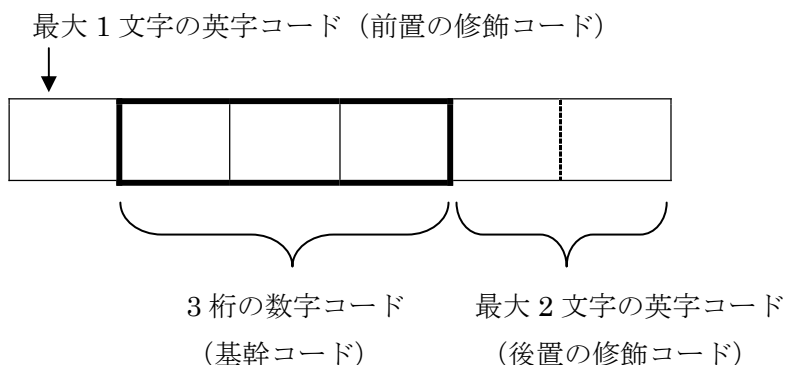
附録A. タイムスタディ調査票

経過 分数	業務内容	ケアコード		ケア対象者						人数	
		前置	数字コード	英字コード	入居者/入所者の高齢者ID番号	調査員ID番号: 調	分	時	他計式 24時間		
+00分											人
01分											人
02分											人
03分											人
04分											人
05分											人
06分											人
07分											人
08分											人
09分											人
10分											人
11分											人
12分											人
13分											人
14分											人
15分											人
16分											人
17分											人
18分											人
19分											人
20分											人
21分											人
22分											人
23分											人
24分											人
25分											人
26分											人
27分											人
28分											人
29分											人

附録B. ケアコード表

<基本的な考え方>

H18 年高齢者介護実態調査のケアコード (3 桁の数字) を基幹コードとし、前 1 文字の英字コード、後 2 文字の英字コードで修飾したものを、本調査のケアコードとした。



(1) 前置の修飾コード

3 桁の数字コードの前に“X”を付けることで、施設間の比較範囲外のサービス内容であることを表現した。比較範囲外のサービス内容の具体的例は、<ケアコードの例>に示している。

(2) 後置の修飾コード

3 桁の数字コードの後に英字を付加して、詳細情報を表現した。例えば、基幹コードでは、BPSD に対するケアを行ったことは記録できるが、どのような BPSD だったかは記録できないので、「徘徊」、「暴言」などの BPSD の内容を詳細情報として付加することができる。

<基幹コード> H18 年高齢者介護実態調査のケアコード

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
1	入浴・清潔保持・整容・更衣	1	入浴 (主に浴室・脱衣所内での介助) ※洗身・洗髪・洗面を含む ※浴室・脱衣所内の移動・移乗・体位変換・浴槽への出入りを含む	1	準備	111
				2	言葉による働きかけ	112
				3	介助	113
				4	見守り等	114
				5	後始末	115
		2	清拭 (入浴時・排泄時を除く)	1	準備	121
				2	言葉による働きかけ	122
				3	介助	123
				4	見守り等	124
				5	後始末	125
		3	洗髪 (入浴時を除く)	1	準備	131
				2	言葉による働きかけ	132
				3	介助	133
				4	見守り等	134
				5	後始末	135
		4	洗面・手洗い (入浴時を除く) (排泄時を含む)	1	準備	141
				2	言葉による働きかけ	142
				3	介助	143
				4	見守り等	144
				5	後始末	145
		5	口腔・耳ケア (入浴時を除く)	1	準備	151
				2	言葉による働きかけ	152
				3	介助	153
				4	見守り等	154
				5	後始末	155
		6	月経への対処	1	準備	161
				2	言葉による働きかけ	162
				3	介助	163
				4	見守り等	164
				5	後始末	165
		7	整容 (入浴後の頭髪のドライヤー乾燥含む)	1	準備	171
				2	言葉による働きかけ	172
				3	介助	173
				4	見守り等	174
				5	後始末	175
		8	更衣 ※浴室・脱衣所・トイレでの更衣を除く	1	準備	181
				2	言葉による働きかけ	182
				3	介助	183
				4	見守り等	184
				5	後始末	185
		9	その他	9	その他	199

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
2	移動・移乗・体位変換	1	敷地内の移動 (浴室内・脱衣所・トイレ内を除く)	1	準備	211
				2	言葉による働きかけ	212
				3	介助	213
				4	見守り等	214
				5	後始末	215
		2	移乗 (浴室内・脱衣所・トイレ内を除く)	1	準備	221
				2	言葉による働きかけ	222
				3	介助	223
				4	見守り等	224
				5	後始末	225
		3	起座 (ギャッジベッドは含まない)	1	準備	231
				2	言葉による働きかけ	232
				3	介助	233
				4	見守り等	234
				5	後始末	235
		4	起立	1	準備	241
				2	言葉による働きかけ	242
				3	介助	243
				4	見守り等	244
				5	後始末	245
		5	その他の体位変換 (浴室内・脱衣所・トイレ内・起座・起立時を除く) (ギャッジベッドの操作を含む)	1	準備	251
				2	言葉による働きかけ	252
				3	介助	253
				4	見守り等	254
				5	後始末	255
		6	介助用具の着脱	1	準備	261
				2	言葉による働きかけ	262
				3	介助	263
				4	見守り等	264
5	後始末			265		
9	その他の体位変換	9	その他	299		

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
3	食事	1	調理 (対象者が調理するのを介助)	2	言葉による働きかけ	312
				3	介助	313
				4	見守り等	314
		2	配膳・下膳 (対象者が配膳・下膳するのを介助)	2	言葉による働きかけ	322
				3	介助	323
				4	見守り等	324
		3	食器洗淨・食器の片づけ (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	332
				3	介助	333
				4	見守り等	334
		4	摂食	1	準備	341
				2	言葉による働きかけ	342
				3	介助	343
				4	見守り等	344
				5	後始末	345
		5	水分補給	1	準備	351
				2	言葉による働きかけ	352
				3	介助	353
				4	見守り等	354
				5	後始末	355
		9	その他	9	その他	399

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
4	排泄	1	排尿 (浴室内を含む) (移乗・体位変換を含む)	1	準備	411
				2	言葉による働きかけ	412
				3	介助	413
				4	見守り等	414
				5	後始末	415
		2	排便 (おむつに係る介助を含む) (移乗・体位変換を含む) (浴室内を含む)	1	準備	421
				2	言葉による働きかけ	422
				3	介助	423
				4	見守り等	424
		5	後始末	425		
		9	その他	9	その他	499

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
5	生活自立支援	1	洗濯 (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	512
				3	介助	513
				4	見守り等	514
		2	清掃・ごみの処理 (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	522
				3	介助	523
				4	見守り等	524
		3	整理整頓 (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	532
				3	介助	533
				4	見守り等	534
		4	食べ物の管理 (対象者がするのを介助) (調理以外)	2	言葉による働きかけ	542
				3	介助	543
				4	見守り等	544
		5	金銭管理 (対象者がするのを介助) (家計簿・請求書処理以外)	2	言葉による働きかけ	552
				3	介助	553
				4	見守り等	554
		6	戸締まり・火の始末・防災 (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	562
				3	介助	563
				4	見守り等	564
		7	目覚まし、寝かしつけ	1	準備	571
				2	言葉による働きかけ	572
				3	介助	573
				4	見守り等	574
				5	後始末	575
		8	その他の日常生活 (集う、テレビを見る、読書をする、たばこを吸うなど)	1	準備	581
				2	言葉による働きかけ	582
				3	介助	583
				4	見守り等	584
				5	後始末	585
		9	相談・助言・指導を含む会話、 その他のコミュニケーション	1	挨拶・日常会話	591
				2	心理的支援・訴えの把握	592
				3	その他のコミュニケーション	593
				4	生活指導	594
		0	その他	9	その他	509

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
6	社会生活支援	1	行事、クラブ活動	1	準備	611
				2	言葉による働きかけ	612
				3	実施・評価・介助	613
				4	見守り等	614
				5	後始末	615
		2	電話、FAX、E-mail、 手紙 (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	622
				3	介助	623
				4	見守り等	624
		3	文書作成 (手紙を除く) (対象者が文書作成するのを介助)	2	言葉による働きかけ	632
				3	介助	633
				4	見守り等	634
		4	来訪者への対応 (対象者が来訪者への対応を する際の介助) ※家族を含む	2	言葉による働きかけ	642
				3	介助	643
				4	見守り等	644
		5	外出時の移動	2	言葉による働きかけ	652
				3	介助	653
				4	見守り等	654
		6	外出先での行為	2	言葉による働きかけ	662
				3	介助	663
				4	見守り等	664
		7	職能訓練・生産活動	1	準備	671
				2	言葉による働きかけ	672
				3	実施・評価・介助	673
				4	見守り等	674
				5	後始末	675
		8	社会生活訓練 (日常生活訓練、対人関係訓練、SSTを含む)	1	準備	681
				2	言葉による働きかけ	682
				3	実施・評価・介助	683
				4	見守り等	684
				5	後始末	685
		9	その他	9	その他	699

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字 コード
7	行動上の問題	1	行動上の問題の発生時の対応	1	準備	711
				2	言葉による働きかけ	712
				3	対応	713
				4	見守り等	714
				5	後始末	715
		2	行動上の問題の予防的対応	1	準備	721
				2	言葉による働きかけ	722
				3	実施・評価・介助	723
				4	見守り等	724
				5	後始末	725
		3	行動上の問題の予防的訓練	1	準備	731
				2	言葉による働きかけ	732
				3	実施・評価	733
				4	見守り等	734
				5	後始末	735
		9	その他	9	その他	799

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
8	医療	1	薬剤の使用 (経口薬、坐薬の投薬、注射、自己注射、輸液、輸血など)	1	準備	811
				2	言葉による働きかけ	812
				3	介助・実施	813
				4	観察・見守り等	814
				5	後始末	815
		2	呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置 (吸引、吸入、排痰、経管栄養など)	1	準備	821
				2	言葉による働きかけ	822
				3	実施・評価	823
				4	観察・見守り等	824
				5	後始末	825
		3	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置 (牽引・固定温・冷罨法など)	1	準備	831
				2	言葉による働きかけ	832
				3	実施	833
				4	観察・見守り等	834
				5	後始末	835
		4	観察・測定・検査	1	準備	841
				2	言葉による働きかけ	842
				3	実施	843
				5	後始末	845
		5	指導・助言	1	準備	851
				2	誘いかけ・拒否時の説明	852
				3	実施	853
				5	後始末	855
		6	病気の症状への対応 (診察介助等)	1	準備	861
				2	言葉による働きかけ	862
				3	実施	863
				5	後始末	865
		9	その他	9	その他	899

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
9	機能訓練 (居室での機能訓練を含む)	1	基本日常生活訓練 (理学療法的訓練)	1	準備	911
				2	言葉による働きかけ	912
				3	実施、評価、デモンストレーション	913
				4	見守り等	914
				5	後始末	915
		2	応用日常生活訓練 (作業療法的訓練)	1	準備	921
				2	言葉による働きかけ	922
				3	実施、評価、デモンストレーション	923
				4	見守り等	924
				5	後始末	925
		3	言語・聴覚訓練 (言語・聴覚療法)	1	準備	931
				2	言葉による働きかけ	932
				3	実施、評価、デモンストレーション	933
				4	見守り等	934
				5	後始末	935
		4	スポーツ訓練 (体操・準備体操含む)	1	準備	941
				2	言葉による働きかけ	942
				3	実施、評価、デモンストレーション	943
				4	見守り等	944
				5	後始末	945
		5	牽引・温熱・電気療法	1	準備	951
				2	言葉による働きかけ	952
				3	実施、評価、デモンストレーション	953
				4	見守り等	954
				5	後始末	955
9	その他	9	その他	999		

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード
0	対象者に直接関わらない業務	1	対象者に関すること	1	連絡調整	011
				2	記録・文書作成	012
				3	入院(所)者の病棟等環境整備・掃除 (職員に関する場所・病室(居室)内を除く)	013
				4	入所(院)者物品管理 (物品購入を含む)	014
				5	巡回、見直し	015
		2	職員に関すること	1	手洗い	021
				2	待機(仮眠)	022
				3	職員に関する記録・調整	023
				4	休憩	024
				5	職員に関する環境整備・掃除(入所(院)者に関する場所を除く)	025
				6	移動	026
		7	その他職員に関すること	027		
		9	その他	9	その他	099

<後置の修飾コード>

詳細情報を付加するための修飾コードを以下に示す。英文字の意味付けは、基幹コードの大分類ごとに定めている。

大分類 1. 入浴・清潔保持・整容・更衣			
a	一般浴槽	b	個別浴槽（姿勢保持機能付き等を含む）
c	機械浴槽（座位式、臥位式、チェアインバス等）	d	シャワー
e	ストレッチャー	f	リフト
g	洗身	h	洗髪
i	散髪	j	結髪・整髪
k	ひげ剃り	l	耳掃除
m	入れ歯	n	歯磨き
o	うがい	p	移動・移乗・誘導

大分類 2. 移動・移乗・体位交換			
a	杖	b	歩行器
c	車椅子	d	ストレッチャー
e	ベッド	f	畳・床・マット

大分類 3. 食事			
a	通常食	b	きざみ食
c	ミキサー食	d	流動食
e	ソフト食	f	経管栄養
g	おやつ・間食		

大分類 4. 排泄			
a	トイレ	b	ポータブルトイレ
c	おむつ	d	膀胱留置カテーテル
e	人工肛門	f	浣腸
g	尿失禁	h	便失禁
i	残尿測定	j	点検・確認
k	移動・移乗・誘導		

大分類 5. 生活自立支援			
a	新聞	b	読書
c	テレビ	d	雑誌
e	パソコン	f	日記

大分類 6. 社会生活支援			
a	散歩	b	買い物
c	通夜・告別式等	d	生活訓練（ベッド上の動き）
e	生活訓練（移乗）	f	生活訓練（歩行）
g	生活訓練（更衣・整容）	h	生活訓練（摂食・嚥下）
i	生活訓練（コミュニケーション）		

大分類 7. 行動上の問題			
a	徘徊	b	暴言
c	暴行	d	不潔行為
e	ケアへの抵抗	f	抑制帯・拘束着

大分類 8. 医療			
a	点滴	b	中心静脈栄養（IVH）
c	経管栄養	d	輸血（クロスマッチを含む）
e	内服薬	f	座薬
g	注射	h	ネブライザー
i	喀痰吸引	j	酸素療法
k	血液透析	l	膀胱留置カテーテル
m	体温測定	n	体重測定
o	血圧測定	p	モニター監視
q	褥瘡		

大分類 9. 機能訓練			
a	リハビリ (呼吸療法)	b	リハビリ (精神療法)
c	リハビリ (摂食機能療法)	d	生活訓練 (ベッド上の動き)
e	生活訓練 (移乗)	f	生活訓練 (歩行)
g	生活訓練 (更衣・整容)	h	生活訓練 (摂食・嚥下)
i	生活訓練 (コミュニケーション)	j	牽引
k	温熱療法	l	電気療法
m	マッサージ		

大分類 0. 対象者に直接関わらない業務			
a	医師の指示伺い	b	家族への対応
c	寝具・ベッドメイキング	d	掃除・整理整頓
e	洗濯・物干し	f	料理・調理
g	食器洗い		

<ケアコードの例>

基幹コードでは、何から何に移乗したのか、どのような BPSD に対応したのかといった区別ができないので、後に英字の修飾コードを付けることで、より詳細な情報を付加する。

例 1) ストレッチャーから機械浴槽への移動 → 1 1 3 c e

例 2) 杖歩行の見守り → 2 1 4 a

例 3) ベッドから車椅子への移乗 → 2 2 3 c e

例 4) 暴行を防ぐために拘束着をつけた → 7 2 3 c f

例 5) 食後に服用する薬剤を用意する → 8 1 1 e

H18 年高齢者介護実態調査では、調理士、栄養士、清掃員は調査対象外となっている。したがって、介護保険施設の給食部門での調理や食器洗浄の時間、清掃員がベッドメイキングした時間などは計測されていない。

H18 年高齢者介護実態調査の結果と比較可能であり、本調査でのグループホームと介護老人保健施設の結果を比較可能とするために、業務内容を「施設間の比較範囲内」と「施設間の比較範囲外」に仕分けしてもらった。具体的には、施設間の比較範囲外の業務内容については、修飾コード“X”を前置することによって、比較範囲外に仕分けしたことを明示することにした。

例 6) ケアを伴わない食器洗い → X 0 1 3 g

例えば、見守りをしながら高齢者と一緒に食器洗いをする場合は、比較範囲内に仕分けする。この場合のケアコードは“3 3 4”となる。

例 7) ケアを伴わないベッドメイキング → X 0 1 3 c

以下、基幹コード（数字3桁）の例を示す。

入浴ケア

ケア内容	ケアコード
入浴の誘い	1 1 2
↓	
居室から脱衣所までの移動の見守り	2 1 4
↓	
衣服をぬぐ際の見守り	1 1 4
↓	
脱衣所から洗い場への移動の見守り	1 1 4
↓	
洗い場から浴槽への移動の見守り	1 1 4
↓	
入浴の見守り	1 1 4
↓	
洗身の介助	1 1 3
↓	
浴槽から脱衣所への移動の見守り	1 1 4
↓	
濡れた身体を拭く介助	1 1 3
↓	
衣服を着る際の見守り	1 1 4
↓	
浴室から居室までの移動の見守り	2 1 4
↓	
職員が浴室まで戻る	0 2 6

排泄ケア

例1：車椅子でトイレに移動させ排泄介助を行う場合

ケア内容	ケアコード
排泄の誘い	4 1 2
↓	
ベッドから車椅子への移乗介助	2 2 3
↓	
トイレまでの車椅子をおす	2 1 3
↓	
車椅子から便器への移乗介助	4 1 3
↓	
衣服を脱がせる	4 1 3
↓	
排泄の介助	4 1 3
↓	
排泄後の清拭介助	4 1 3
↓	
衣服を着せる	4 1 3
↓	
便器から車椅子への移乗介助	4 1 3
↓	
手洗いの介助	1 4 3
↓	
病室までの車椅子を押す	2 2 3
↓	
車椅子からベッドへの移乗介助	2 2 3

例 2 : オムツ交換を行う場合

ケア内容	ケアコード
オムツ交換の声かけ	4 2 2
↓	
排泄時の体位変換介助	4 2 3
↓	
衣服を脱がせる	4 2 3
↓	
オムツカバーをはずす	4 2 3
↓	
オムツをはずす	4 2 3
↓	
おしりをふく介助	4 2 3
↓	
オムツをつける	4 2 3
↓	
オムツカバーをつける	4 2 3
↓	
腰をあげてもらふ	4 2 2
↓	
衣服を着せる	4 2 3

食事ケア

ケア内容	ケアコード
食事のテーブルのセッティング	3 4 1
↓	
食事の誘い	3 4 2
↓	
ベッドから車椅子の移乗介助	2 2 3
↓	
食事のテーブルまでの車椅子での移動介助	2 1 3
↓	
エプロンをつける	3 4 1
↓	
食事の配膳	3 4 1
↓	
スプーンで食べさせる	3 4 3
↓	
吸い飲みでお茶を飲ませる	3 4 3
↓	
バナナの皮をむく	3 4 3
↓	
入居者の方の口の回りをふく	3 4 3
↓	
口の中に食べ物が残っていないか確認	3 4 3
↓	
エプロンをとる	3 4 5
↓	
車椅子で洗面所へいく	2 1 3
↓	
義歯を取り外すのを見守る	1 5 4
↓	
義歯用洗淨水を準備する	1 5 1
↓	
義歯を洗淨水に入れる	1 5 3
↓	
義歯を入れた洗淨水を所定の位置に置く	1 5 5